



社会福祉法人 亀天会

令和5年度 事業計画

令和5年度 事業計画 目次

1. 法人本部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 1
2. 特別養護老人ホーム 亀天荘・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 7
3. 短期入所生活介護事業所 亀天荘・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 14
4. 居宅介護支援事業所 亀天荘・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 15
5. グループホーム 亀天福寿苑・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 20
6. グループホーム 鶴翠・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 28
7. ケアハウス 鶴翠苑・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 37
8. 特別養護老人ホーム 大師苑・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 46
9. 短期入所生活介護事業所 大師苑・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 52
10. 居宅介護支援事業所 大師苑・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 53
11. 小規模多機能型居宅介護 芳苑・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 57
12. 小規模多機能型居宅介護 芳苑（サテライト）・・・・・・・・ P. 68
13. グループホーム竹梅小路・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 80
14. さくら保育園・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 86
15. 亀天会診療所・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 93
16. 有料老人ホーム 芳苑・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 97
17. 西条市地域包括センター東予・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 108

1. 法人理念

「かかわる全ての人を笑顔に、人生を豊かに」

ご利用者の方々とそのご家族、並びに地域で生活しておられる方々のお力添えを頂きながら、西条市（旧東予市）で事業を開始して 25 年目を迎えます。以来、社会福祉法人亀天会は、多くのご支援とご指導を頂きながら成長してまいりました。

当会は、福祉の原点は「支えあい」であり、互いに敬い、互いに思いやりをもって過ごすことができるようサービスを提供するとともに、将来にわたり永続した発展を目指してまいります。「私たちの優しさで、地域に笑顔の花を咲かせよう」という気持ちをもって、環境や命を大切にした事業運営に努めてまいります。

2. 基本方針

- ① 礼儀を大切にしましょう。
- ② 丁寧な言葉遣いに心がけましょう。

当会では、生きがいは、「考えること・働くこと・学ぶこと・遊ぶこと・かかわること」と捉えています。ご利用者のみならず、職員ひとりひとりが生きがいを感じることができる法人を目指しています。

すべての人の期待に応えるべく、その人が求めるサービス、その人に適したサービスを提供します。生きがいを感じられる環境をつくるためには、一人ひとりと深く関わって共に生きること、つながりを大切にすることが重要です。他者の人生に関わる私たちは、礼儀と思いやりの言葉を大切にして優しさを提供するように努めます。その上で、常に成長し、変化しながら、良質なサービスを提供するシステムの構築を目指していきます。また、当会に寄せられる貴重な意見や批判などを真摯に受け止め既存のシステムを改善する努力も惜しみません。

当会は、社会福祉法人のあるべき姿を提示するために、人としての豊かさを身につけ、福祉のプロとしての専門性を発揮し、地域社会の一員として良質な環境作りに寄与してまいります。

3. 社会福祉法人亀天会 年間計画

- ① 理事会・評議員会をそれぞれ年3回以上開催する。
- ② 運営方針や意思統一を図るため、所属長会議を月1回以上行う。
- ③ 健全な財務規律の確立をおこなう。設備投資計画や人事計画を見直し、実行する。
- ④ 人材の発掘と育成に向けた取り組みの強化をおこなう。
- ⑤ 効果的な広報戦略の推進をおこなう。

【会議開催予定】

開催月	主な議題	構成員
【理事会・評議員会】		
6月	令和4年度決算報告、事業実績 他	理事・評議員・監事・ 施設長・管理者 他
10月	令和5年度事業進捗報告 他	
3月	令和6年度事業計画、令和5年度補正予算 他	
【所属長会議】		
毎月	毎月第2金曜日に法人の事業方針の伝達・ 確認、事業所の運営状況の把握を行う。	所属長又は次席者
【内部監査】		
不定期	事業所の介護サービス並びに経理業務を確 認するため、内部監査を実施する。	各事業所の職員
【教育・研修】		
月1回 程度	人材育成の観点から、主任・副主任・リーダ ー・班長対象の実務的な勉強会を開催する。	主任・副主任・リーダ ー・班長 等
随時	健全な財務規律の確立と実効性のある組織 体制の構築に向けた取り組みをおこなう。	管理職
【監事監査】		
5月	令和3年度中における事業実績及び決算の 監査を行う。	理事長・事務長・所属 長・法人担当職員

事業所名 : 法人本部

1. 理念・基本方針

運営理念	法人理念にある「かかわる全ての人を笑顔に、人生を豊かに」の実現に向け、当法人では「思いやりと支えあうこと」を大切にします。そのために、まずは職員が礼儀を大切にし、丁寧な言葉遣いを心掛け、法人とかかわるすべての人に思いやりをもって、社会福祉法人らしい社会貢献を目指した運営を行ってまいります。
運営方針	<p>① 社会の求める法人として顧客ニーズを理解し、社会福祉法人としての価値を存分に活用できるよう、積極的に地域交流等へ参加し、地域の活性化の一端を担い、相互理解を深め、当法人としての役割や責任を果たしつつ、医療連携にも努めてまいります。</p> <p>② 法令遵守と社会理念の遵守を全事業所に浸透継続的に伝達し、職員一人一人に基本概念の理解のほか、ハラスメント防止や個人情報の取り扱いなどの時代のニーズに応じたテーマで、内外部の研修に積極的に参加することで理解を深め、各種法改正等に伴い、適宜情報発信を行うなど、定期的・継続的にコンプライアンスと倫理観のさらなる向上を図ってまいります。</p>

2. 重点目標

重点目標	法人本部として高い主体性を持ち、社会福祉法人に関わる制度の動向に迅速かつ的確に対応するとともに、各事業所の運営活動を支えるための組織強化を図る。
年 度 目 標	
①	経営状況について各事業所において担当者が収支や経営状況を的確に把握し、収益の確保と健全な支出、将来を見通した計画的な事業運営をおこないます。
②	職員一人一人がコスト意識を持って課題分析を行い、無駄・無理の無い中長期的な資金計画及び資金管理、事業所の人件費、事業費、事務費の経費削減に努めます。

③	事業運営に関する根拠法令のみならず、業務周辺の規程・規則についても熟知して、健全かつ効率的に事業をおこなうとともに、課題や問題の解決をおこないます。
中 長 期 目 標	
①	健全な財務規律の確立と実効性のある組織体制構築を行い、永続的に事業運営することができる組織作りをおこないます。また、福祉サービスの充実、地域課題・ニーズへ対応できる体制を構築に努めます。

3. 行事計画

重点目標	社会福祉法人の地域における公益的な取組について、地域の福祉ニーズに向き合い、そのニーズに応じた事業・活動の継続実施や新規活動の実施など、地域共生社会の実現に資する支援に取り組みます。
年 度 目 標	
①	各事業所のご利用者やご家族、職員の交流を深め、ニーズの把握と迅速な対応を可能にするとともに、法人職員同士やかかわる全ての人達との一体感を醸成するための様々な場面の創出に努めます。
②	地域支援と共生社会の構築を目指す地域包括ケアシステムを確立していくには、地域の軸としての活動が必要であるため、地域の資源の1つとして当会を活用して頂けるよう設備・人員の充実に取り組みます。
③	地域でおこなわれている活動に積極的に参画していくことを目指し、公益的な活動を法人全体として実施していきます。また、効果的な広報活動を構築して現在の機能を最大限に活用できる体制づくりをおこないます。
中 長 期 目 標	
①	高齢者福祉の取組みを推進する上で、住民・関係団体等の理解を得て、地域福祉の発展に係る情報を幅広く周知し、情報を共有することで、広く意見や提言をしやすい環境づくりに努め、地域の参加と協力が得られる体制の整備と、活動者・団体との連携を図ります。

【行事予定】

月	行事名	内容	予算
6月	新入職員歓迎会	新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで、新入職員が役員や役職員から学ぶ機会を設けます。	100,000円
1月	新年会	法人全体の行事を復活させ、一体感と企業価値の向上を図るため、全体行事をおこないます。	1,000,000円

4. 研修計画

重点目標	法人経営のために必要な基礎的教養を身につけ、変化する社会情勢に適応し、多様な価値観を受容することができ、自らのキャリアを考え実現していくことができる人材を育成します。
年 度 目 標	
①	ものの見方、考え方、社会規範意識、倫理性などの価値観の総体である豊かな教養と専門性を持った職員形成に努めます。
②	永続的に事業を実施及び繁栄していくためにも、人材の育成が重要です。実務的な研修を通して魅力のある人材を育成していくことができるよう努めます。また、キャリアアップと給与体系の好循環も構成していくよう努めます。
③	健全な財務状況構築のため、各種法令・諸規程の理解に努めます。また、一人一人がコスト意識をもって業務改善、プロセスの構築に努めます。
④	会計責任者及び出納職員が社会福祉法人の会計基準に関する必要かつ十分な知識を身につけ、適正な事業運営ができるよう、改善提案・企画立案をおこないます。
中 長 期 目 標	
①	法人本部は事業所に信頼され、安心感を与え、満足してもらえるような専門職を育てていきます。そして、各専門分野においてプロとして期待される、質の高い人材を育成いたします。

【研修計画】

月	項目	内容	担当者
5月	法令遵守・ハラスメント対策	企業におけるコンプライアンスの重要性とハラスメント対策を理解する。	総務課
6月	令和4年度決算報告	法人の運営状況と社会福祉法人の経営環境を理解する	経理課
7月	BCP・備蓄品の確保 資料整理の目的	業務継続計画を理解し、備蓄品の確保や消費期限の確認をおこなう。 また、書類整理について目的を理解し、過年度の資料整理をおこなう	総務課
8月	本部内部監査準備（座学）	内部監査を受けるために監査要項を理解する	総務課
9月	本部内部監査準備（実践）	内部監査を受けるためのチェックを行う	総務部 全員
10月	社会福祉法人簿記について	社会福祉法人での基礎的な簿記について理解する	経理課
11月	感染症予防対策	混戦症予防について実践をまじえて学ぶ。また、感染症対策のBCPについて学ぶ	総務課
12月	1年の総括、振り返り	年末にあたり、1年の過ごし方、働き方を振り返り総括する	総務課
1月	防災、防犯対策	予期せぬ自然災害や考えられる防犯対策について学ぶ。また、防災対策のBCPについて学ぶ	総務課
2月	労働安全衛生について	職場における労働環境やセルフケアについて考える	人事係
3月	キャリアプラン	個人のキャリアプラン作成と見直しを考えてみる	総務課
通年	内部監査	他事業所の内部監査を行って手続きを実践で確認します。	総務部

事業所名 : 特別養護老人ホーム亀天荘

1. 理念・基本方針

運営理念	亀天荘に関わる全ての人が、穏やかに幸が得られますように
運営方針	<p>① ご利用者とそのご家族を支えるために、ご利用者ごとの最善のケアを多職種共同で考え、医療との連携も図りながらチームケアを行います。</p> <p>② 働きやすい環境を整え、職員一人一人が目標意識を持って仕事ができる体制を作ります。</p> <p>③ 法人内外の事業所と連携を密に図り、稼働率を維持することで安定した運営ができるようにします。</p>

2. 重点目標

重点目標	ご利用者とそのご家族に安心して利用していただけるよう、多職種がそれぞれの専門性を活かしながら協力することでサービスの向上を図ります。
年 度 目 標	
①	毎月開催する多職種が参加するケアカンファレンスで意見を出し合い、ご利用者に合ったケアプラン、機能訓練計画、栄養ケア計画、褥瘡ケア計画を考え、計画に基づいたケアを実践できるようにします。
②	ご利用者の些細な状態変化に気付くことができる職員を増やし、専門職それぞれの視点からケア方法の提案ができるようにします。
③	ご利用者の状態、施設での様子について都度報告することで、ご家族にも安心していただくとともに、ご利用者を支える体制を作ります。
中 長 期 目 標	
①	できるだけ長くなじみのある施設で自分らしく過ごしていただけるよう、看取りケアの体制も整えながら、個別ケアの充実を図ります。

重点目標	職員一人一人が組織における自分の役割を理解し、それを果たすことができる体制をつくり、キャリアアップしていくことで組織力の向上を図ります。
年 度 目 標	
①	組織図、役割表、業務遂行表、ルールを職員に周知し都度見直し、更新することで、全員が組織の中での自分の役割を理解できるようにします。
②	決められた業務が遂行できているかをチェックする体制を整え、フィードバックを行うことでそれぞれの役割を完遂できるようにします。
③	職員へのフォローを行い、頑張った職員は評価することで、やりがいを感じながら仕事ができ、キャリアアップできるような体制を構築します。
中 長 期 目 標	
①	職員一人一人が主体的に考えて行動し、協力し合うことで組織力の強化を図ります。

重点目標	事業所の安定的な運営のために、収益の向上を図ります。
年 度 目 標	
①	新規入所申込者を獲得し、入所待機者へのフォローを行うことで、必要になった時にサービスの利用につなげられるよう、努めます。
②	ご利用者の健康状態の管理をしながら、事故によるけがの防止に努めるとともに、入院などが生じた際の入院連携・退院連携をしっかりと行います。
③	単価や経費の見直しを行い、職員にコスト意識を持たせることで経費削減に努めます。
中 長 期 目 標	
①	収益を向上することで事業を安定的に継続し、地域の中で必要としている方によりよいサービス提供を続けていけるようにします。

3. 行事計画

重点目標	季節感を味わったり、思わず笑顔になれるような行事を企画、実行することで、ご利用者と職員が一緒になって楽しめるようにします。
年 度 目 標	
①	行事検討会議にて行事の企画、内容を検討し、計画的に準備ができるようにします。行事後には振り返りを行い、次に活かすことでよりよい行事ができるようにします。
②	行事の様子を伝える広報誌を作成し、ご家族に配布することでご利用者の楽しまれている様子が伝わるようにします。
③	職員のための親睦会を企画し、職員間の交流を深め、コミュニケーションや連携をとりやすい関係づくりをします。
中 長 期 目 標	
①	ご利用者のご家族や地域の方々も巻き込んだ行事を企画し、地域に根差した施設づくりをします。

【行事予定】

月	行事名	内容	予算
4月	ドライブ	お花見(桜)	500円
	誕生会	月例誕生会	1,000円
5月	端午の節句	鯉のぼり作り	500円
	誕生会	月例誕生会	1,000円
6月	ドライブ	ドライブ(あじさい見学)	500円
	誕生会	月例誕生会	1,000円
7月	七夕	笹飾り作成	2,000円
	誕生会	月例誕生会	1,000円
	夏祭り		355,000円
8月	おやつイベント	ひんやりデザート	500円
	誕生会	月例誕生会	1,000円
9月	誕生会	月例誕生会	1,000円
	敬老会	敬老会	10,000円
10月	お祭り	施設内でお祭り	1,000円
	誕生会	月例誕生会	1,000円

月	行事名	内容	予算
1 1	紅葉狩り	紅葉観賞	500 円
月	誕生会	月例誕生日	1,000 円
1 2	誕生会	月例誕生会	1,000 円
月	クリスマス	クリスマス	1,000 円
1 月	初詣	神社参拝	500 円
	誕生会	月例誕生会	1,000 円
2 月	誕生会	月例誕生会	1,000 円
	節分	節分の豆まき	1,000 円
3 月	誕生会	月例誕生会	1,000 円
	ひな祭り	ひな祭り	500 円

4. 研修計画

重点目標	研修を通して多職種それぞれの専門性を高め、職種間で共有することで、職員全体のレベルの向上を図り、よりよいケアにつなげるようにします。
年 度 目 標	
①	介護職員全員が必要な資格の取得、研修を受講し、全体のレベルアップを図るとともに、キャリアアップに必要な介護福祉士や介護支援専門員を取得する職員を増やします。
②	外部研修に参加することで、知識や技術の向上を図り、それを内部研修で他の職員にフィードバックすることにより職員全体で共有できるようにします。
③	基本的な知識、技術の取得からより専門的、実践的な内部研修を行い、それを日々の業務に活かすことで職員全体のケアのレベルの向上を図ります。
中 長 期 目 標	
①	職員一人一人が現状を正しく把握し、それぞれの目標に対して足りない部分は補い、長所を伸ばしていくことができるような指導体制を構築します。

【研修計画】

月	項 目	内 容	参加者
4月	法令遵守について	職業倫理と介護保険法、その他関係法令の理解と遵守	全職員
	ハラスメント対策について	職場におけるハラスメントについて理解し、その対策について学ぶ	全職員
5月	急変時の対応について	高齢者の急変時における確認すべきポイントと必要な対応を学ぶ	全職員
	事故防止について	施設で発生する事故とその原因を学びどうすれば予防できるか考える	全職員
6月	感染症対策について	施設における感染症について理解し、実際に発生した場合のシミュレーションを行う	全職員
	虐待防止について	高齢者施設で起こりうる虐待について理解する	全職員
7月	褥瘡予防について	褥瘡についての基本的な知識を学び観察のポイントを理解する	全職員
	認知症ケアについて	認知症の種類や症状を理解し、適切な対応方法を考える	全職員
8月	身体拘束防止について	施設で起こる身体拘束にはどのようなものがあるかを理解する	全職員
	防災について	防災と自然災害発生時における BCPを理解し、発生時のシミュレーションを行う	全職員
9月	ケア計画と記録について	ケアマネジメントにおける記録の重要性を理解し、適切な記録ができるようになる	全職員
	事故防止について	危険を予測し事故を防ぐための具体的な対応を考える	全職員
10月	口腔ケアについて	口腔ケアの重要性を理解し、ご利用者の状態に応じたケア方法を学ぶ	全職員
	虐待防止について	自分のストレスへの対応方法を考え、不適切なケアを防止する	全職員

月	項目	内容	参加者
11月	感染症対策について	感染症発生時のゾーニング、ガウンテクニック、汚染物の適切な処理方法を確認する	全職員
	看取りについて	看取り期における状態変化を理解し、それに応じたケア、対応について学ぶ	全職員
12月	防犯について	施設の防犯体制を確認し、不審者が侵入したことを想定しての訓練を行う	全職員
	誤嚥予防について	誤嚥予防のための食事介助の際に気を付けるべきポイントを学ぶ	全職員
1月	褥瘡予防について	褥瘡を予防するためのポジショニングや清潔保持といった具体的なケア方法を理解する	全職員
2月	身体拘束防止について	身体拘束を防止するための方法を学び、対応が難しいご利用者へのケア方法を考える	全職員
3月	防災について	災害時にとるべき行動を理解し、発生直後から復旧までの対応のシミュレーションを行う	全職員

※その他

1. 東予地区老人福祉施設協議会研修事業の外部研修への参加(計10回程度、日時未定)
2. 東予地区老人福祉施設協議会研修参加に伴う報告(内部研修)
3. 医療安全研修への参加(年2回程度、日時未定)
4. 感染対策研修への参加(年2回程度、日時未定)
5. 認知症介護基礎研修への参加(日時未定・無資格者必須)

5. その他の重要な取り組み

(1) 新型コロナウイルス感染症及び蔓延防止対策

平常時から流行の状態に応じた感染対策をとることで施設内での感染の発生を予防します。発生した場合には、直ちにBCPに基づいたゾーニング、職員配置、感染症下のケア方法をとることで、感染を最小限に抑え、早期の収束を目指します。

(2) ハラスメント対策

パワーハラスメント、セクシャルハラスメント、マタニティハラスメント、カスタマーハラスメント対応の体制を整え、職員に周知、啓発することで、ハラスメントの防止に努めるとともに、ハラスメントがあった場合には速やかに解決のための措置を講じます。

(3) 地域における公益的な活動

社会福祉法人等による利用者負担軽減制度を活用し、支援が必要な方がサービスを受けられるようにします。また地域の環境美化活動に参加することにより、地域の一員としての役割を果たします。

(4) 介護職員等処遇改善加算への取り組み

① 職員の資質向上に向けた取り組み

新人職員(異動者)については、入職時研修と OJT で業務に必要な知識を習得し、一人で業務ができるようにします。現職員については、内部研修により必要な知識や技術を学び、全員で共有します。

また、外部研修に参加することで、より専門性を高め、学んだことを職員全体にフィードバックする機会を作り、全体のレベルの向上を図ります。

② 職場環境改善に向けた取り組み

快適で衛生的なトイレ、更衣室を確保し、休憩及び仮眠をとるスペースもくつろぐことができる空間になるよう整備します。

また、職員間のコミュニケーションの円滑化を図ることで、お互いに相談や協力し合える関係づくりをします。

事業所名 : 短期入所生活介護事業所亀天荘

1. 理念・基本方針

運営理念	亀天荘に関わる全ての人が、穏やかに幸が得られますように
運営方針	<p>① 軽度の方から施設入所を待つ重度の方まで、安心して利用していただけるサービスを提供します。</p> <p>② サービス利用中のご利用者の状態について、ご家族や居宅の介護職員と情報を共有し、適切なケア方法の提案をすることで在宅生活の継続を支援します。</p> <p>③ 法人内外の各事業所と連携し、地域福祉の拠点としてご利用者のサポートを行います。</p>

2. 重点目標

重点目標	特養併設の強みを活かし、軽度の方から重度の方まで様々な状態のご利用者に対応できるような体制を整え、必要な方に速やかにサービスを提供できる体制を整えます。
年 度 目 標	
④	多職種の専門職が関わることで、在宅生活中にはわからなかったご利用者の状態を把握し、ご家族と情報共有や相談をしながら適切なケアを提供します。
⑤	居宅や病院、他事業所に対して働きかけ、信頼関係を構築することで新規のご利用者を継続的に獲得し、安定的な運営を行います。
⑥	職員一人一人のケアの質の向上と連携の強化、設備の見直しを行うことで、より多様な利用者に対応できるようにします。
中 長 期 目 標	
①	地域福祉の拠点としての役割を果たせるよう、問い合わせや相談に速やかに対応できる体制を整えます。

1. 理念・基本方針

運営理念	ご利用者が住み慣れた地域で、健康を保ちながら不安なく暮らし続けられることを基本に、亀天会の居宅介護支援事業所として地域から信頼感を持ち続けて頂けるように努めます。
運営方針	<p>① 相談や要望への対応を迅速かつ的確にできる組織体制を確立、維持します。</p> <p>② 亀天会グループの窓口となり、各施設・サービス間との連携強化に努めます。</p> <p>③ 地域包括ケアシステムによる居宅介護支援事業所の役割を果たし、地域の高齢者が住み慣れた場所で安心して過ごせるように努めます。</p> <p>④ その他の介護保険サービス、役所・医療機関等の各種関係機関との連携を図ることで、サービスや手続き、健康面の不安を都度解消できる対応に努めます。</p>

2. 重点目標

重点目標	地域で暮らす高齢者が住み慣れた場所で暮らせるように、多くの利用相談に携わり、介護支援専門員としてその方々に合った在宅サービスや施設サービス等を的確に提案、提供できる事業所になります。
年 度 目 標	
①	地域で暮らす住民の介護や介護保険の相談に応じ、地域の高齢者の方々が適切に介護保険サービスを活用しながら安定した生活が行えるように支援します。また在宅サービスだけに留まらず、様々なフォーマル・インフォーマルサービスを活用できるように努めます。
②	居宅における介護支援専門員として、生活状況や心身状況の変化について予測を的確に行い、ご利用者に合ったサービスの提案と提供に努め、状態悪化の予防と改善が図れるようにします。また、生活が安定している時期においても、予測される体調の変化と変化に対応出来るサービスの提案を行い、安心して生活が続けられるように支援します。

③	各介護保険制度担当者との情報共有を行う事により、地域における介護サービスのネットワークを構築し、地域課題の抽出や課題解決が行えるように努めます。特に、地域包括支援センター連携強化にて、センターとの協働による地域支援がおこなえるように努めます。
④	ご利用者の心身状況や生活状況により、在宅サービスから施設サービスのスムーズな移行が行えるように、各事業所との連携を図りながら居宅サービスを実施します。
中 長 期 目 標	
①	亀天荘の顔として、ご利用者・ご家族・地域住民・法人内外関係者から信頼される事業所になります。

重点目標	医療との連携を密に図り、ご利用者の生活を支える医療体制を整え、介護保険サービスの利用に繋がれるよう努めます。また、在宅・施設サービスの組み合わせにより医療ニーズの高いご利用者でも地域で暮らし続けられるように支援します。
年 度 目 標	
①	亀天会診療所やその他医療機関、各施設との連携を図りご利用者が健康に暮らせるように既往歴や医療情報の交換を密に行います。また、法人の強みを生かした在宅、施設サービスの提案、提供にてご利用者が安心した日々を迎えられるように支援します。
②	医療との連携により、在宅における医療ケアについての学びと情報共有を常に行い、ケアマネジメントを通じて発病や進行防止の働きかけを行い、ご利用者が望む地域での暮らしが長く続けられるように努めます。
中 長 期 目 標	
①	ご利用者の意識向上を図ることで健康維持に努め、心身状況に応じて必要な治療やサービスを円滑に受けられる体制を作ること、ご利用者が健康に地域で暮らし続けられるようにします。

3. 行事計画

重点目標	行事を通し地域住民との関係性を良好に保ち、地域包括ケアシステムの構築における、居宅介護支援事業所としての役割を果たす事が出来るようにします。
年 度 目 標	
①	地域高齢者の見守り訪問を行います。また、ご利用者を通じた地域とのつながりを持ち、ご利用者や地域住民との関係構築に努めます。
②	地域住民に対し介護に関する情報や福祉サービス・施設サービスに関する情報を発信し、地域住民との交流を積極的に行います。
③	地域包括支援センターとの情報交換や連携を図ることにより、日頃から地域高齢者との交流を持ちます。また、連携を強化することにより居宅サービスが必要な場合に迅速にサービス提供を行えるように努めます。
中 長 期 目 標	
①	地域の高齢者やご家族から、亀天会の居宅介護支援事業所として親近感を持って信頼されるようになります。

【行事予定】

月	行事名	内容	予算
年 1 回	介護教室	介護や福祉に関する情報発信	無料
11月	秋祭り	病院、薬局、公民館、民生委員、スーパー、コンビニ等へも協力を依頼し、催しを通して地域との交流を図ります。	10,000円
	河北ふれあい祭り	隣保館の河北会館にて開催されており、展示や催し、バザー等を開催しています。福祉の情報発信を行い、高齢者だけではなく、世代間・地域間交流の場を作ります。	無料

4. 研修計画

重点目標	居宅介護支援事業所の介護支援専門員として、専門的知識と技術の水準の向上に努める事で、法人や事業所の介護支援専門員の資質の向上が図れるように努めます。
年 度 目 標	
①	ケアマネジメントを実施していく中で抽出された課題をもとに、事例検討にて振り返りを行いながら、質の高い的確なケアマネジメントが行えるように努めます。
②	様々な心身状況にあるご利用者のケアマネジメントが適切行えるように、多様な内容の研修に参加し知識向上と情報共有に努めます。また、在宅・施設に関わらずご利用者が望む暮らしが円滑に提案、提供が行えるようにします。
③	各事業所の介護支援専門員や計画作成担当者との連携を図り、主任介護支援専門員としてスーパーバイザーの機能を活用し、介護支援専門員等の持つ課題の解決やケアマネジメント力の向上が図れるよう努めます。
中 長 期 目 標	
①	介護支援専門員としてのスキルを向上させ、ご利用者、ご家族に対して的確な居宅介護支援を提供します。また、的確なケアマネジメントを提供することで、地域からの信頼の獲得を図ります。
②	介護保険の専門職としてのスキルを、特に法人内の連携・業務の円滑化に活かせるよう、各施設・担当者との連携保持に努めます。

【研修計画】

月	項目	内容	参加者
月 1 回	居宅サービス会議	介護保険制度や医療制度等の理解、疾病等の医療関係情報の確認、居宅介護支援各業務についての確認等。テーマを設定し、勉強会を行いスキル向上を目指す。	介護支援専門員
年 4 回程度	西条市ケアマネ連絡会	西条市、連絡会役員がテーマを決定する、業務を円滑に遂行するための勉強会に参加することで、スキルの向上を図る。	介護支援専門員

月	項目	内容	参加者
年2回程度	合同事例検討会 (ケアプランセンター共立病院)	外部の居宅介護支援事業所と共同で事例検討会を行い、ケアマネジメント力の向上を図る。	介護支援専門員

5. その他の重要な取り組み

(1) 新型コロナウイルス感染症予防及びまん延防止対策

日々の検温や体調把握等、職員個々の体調管理に努めます。また、訪問におけるマスク着用や手指消毒、体温チェック等、状況に応じた感染対策を行います。感染状況に応じては、職員の検査の実施・訪問時間や訪問制限を行いまん延防止に努めます。

(2) ハラスメント対策

職場におけるハラスメントの防止に関する規程を基本に、職員に対し禁止行為に当たるハラスメントの実態がないか面談による調査を行い、職場における健全な関係を保持します。

カスタマーハラスメントにおいても事業所・職員とご利用者及びご家族、または関係機関と良好な関係のもとサービス提供が行えているか、記録確認と聞き取りにて調査を行い健全な関係を保持します。

(3) 地域における公益的な活動

介護教室の開催や行事参加、地域交流にて、地域住民にむけて介護保険や福祉サービス、施設サービス等の情報発信を行い、介護・福祉と地域が身近な存在である事を感じて頂けるように努め、地域との関係をより強く出来るようにします。

事業所名 : グループホーム 亀天福寿苑

1. 理念・基本方針

運営理念	“一緒に” “共に” を大切にし、私たちは支援します。
運営方針	<p>③ ご利用者、1人1人が「その人らしく」生活が送れるよう支援します。</p> <p>④ ご家族と積極的に交流し「安心」を提供します。</p> <p>⑤ 地域の方との交流を行い、より良い関係作りを行います。</p> <p>⑥ 職員の質の向上を目指し、より良い職場環境を提供します。</p>

2. 重点目標

重点目標	ご利用者に寄り添い、その人らしく生き活きとした生活を送って頂けるようにチームで支援します。
年 度 目 標	
①	ご利用者一人一人との関わりを多く持つことで、そのご利用者を理解し必要なケアを行うことができるよう、アセスメントを行い、職員間で情報共有をします。
②	ご利用者一人一人が役割を持ち、そのご利用者らしい生活を送ることができるようなケアの実践を行います。
③	脳トレや手先を動かすレクリエーションを取り入れ、状態に合わせた生活リハビリや季節行事を行うことで、身体機能維持に努めます。
中 長 期 目 標	
①	ご利用者一人一人に合わせた支援を行い、ご利用者及びご家族が穏やかに生活ができるように支援します。

重点目標	ご利用者の身体状況の把握に努め、早期の異常発見に努め、安定した稼働率の維持、向上に努めます。
年 度 目 標	
①	職員間での情報共有を行い、日常の身体状況の把握をし、病気や認知症状の早期発見し迅速に対応を行うことで、施設での生活が継続して行うことができるよう努めます。
②	事故を未然に防ぐことができるように、ヒヤリハットの重要性を理解して、インシデントの抽出に努めます。そして、そのインシデントよりリスクを把握し、対応方法について施設全体で検討と実践を行います。
③	周辺地域の感染状況を把握し、ご利用者、職員ともに感染予防対策に努め、安心・安全な生活を送ることができるように努めます。
中 長 期 目 標	
①	全職員が稼働率向上への意識を持ち、相談については早急に対応することができるように職員一人一人の役割を果たすことで、待機者を増やすことができるよう努めます。

3. 行事計画

重点目標	季節に応じた行事に努め、ご利用者及びご家族が安心して生活を送れるよう支援します。
年 度 目 標	
①	ご家族への定期のお手紙や写真を送り、日々の表情を見て頂くことで福寿苑での生活に安心して頂くことができるよう努めます。
②	地域行事の情報を集め、地域で催される行事にご利用者とともに参加し、ご利用者が生き生きとした生活を送ることができるよう努めます。
中 長 期 目 標	
①	ご利用者及びご家族が楽しみを持つことで、安心した生活を送ることができるよう努めます。

【行事予定】

月	行事名	内容	予算
4月	お花見ドライブ	参加者・ご利用者と一緒にお花見ドライブをする。	500円
	運営推進会議 お茶会	運営状況、行事報告、意見交換を行う。 地域の方・ご利用者と一緒にお茶会を行う。	1,000円
	防災訓練	参加者と一緒に防災訓練を行う。	
5月	高部地区お祭り	高部巖島神社へお祭り見学にご利用者と一緒に出掛ける。	無料
	運動会	楽しみながら身体を動かし、参加者の人と楽しんでいただく。	1,000円
	サツマイモ苗植え	畑作業を行い、季節を感じて頂き、収穫への思いを楽しんでいただく。	2,000円
6月	運営推進会議	運営状況、行事報告、意見交換を行う。	2,000円
	カラオケ大会	ご利用者と職員でカラオケ大会を行う。	材料費 1,000円
7月	手作りおやつ	季節に応じたおやつ作りを行い楽しんでいただく。	1,000円
	七夕（そうめん流し）	短冊に願い事を書いたり、飾り作りを行い、飾り付け。そうめん流しを実施。	1,000円
8月	夏祭り	盆踊り等夏のイベントを開催する。	15,000円
	運営推進会議	運営状況、行事報告、意見交換を行う。	
9月	敬老会	ご利用者を敬い、職員による慰労会を行う。	5,000円
	おはぎ作り	ご利用者と一緒におはぎ作りを行う。	2,000円
10月	運営推進会議	運営状況、行事報告、意見交換を行います。	実費
	防災訓練	参加者と一緒に防災訓練を行う。	無料
	防災食作り	参加者と一緒に防災食作りを行う。	1,000円
	文化祭	職員やご利用者の作品展や喫茶コーナーを行う。	5,000円
11月	紅葉ドライブ	参加者とご利用者と一緒に紅葉ドライブへ行く。	500円
	サツマイモの収穫	参加者と育てたサツマイモの収穫を行う。	2,000円

月	行事名	内容	予算
12月	クリスマス会	クリスマス会で職員の催し物や来苑者と共に参加するイベントを行う。	5,000円
	運営推進会議 餅つき	運営状況、行事報告、意見交換を行う。 機械を使って、ご利用者と餅つきを行う。	2,000円
1月	鏡開き	ご利用者と一緒に鏡開きを行い、無病息災を願う。	2,000円
2月	運営推進会議 節分	運営状況、行事報告、意見交換を行う。 ご利用者と一緒に節分行事を行う。	2,000円
3月	波止浜地区文化 福祉祭り	ご利用者・ご家族・職員の作品を展示します。ご利用者と一緒に見学に福祉祭りに出掛ける。	無料
	ひな祭り	ご利用者と一緒にひな祭り行事を行う。	2,000円
	おはぎ作り	ご利用者と一緒におはぎ作りを行う。	2,000円

【行事予定】

1月～3月は、インフルエンザ流行時期になる為、苑内行事となります。

*各ユニット毎で誕生月の方のお誕生日会を行います。

*地域のイベント情報を集め、参加します。

*コロナウイルスの状況を見ながら、参加者の集い方を考えます。

4. 研修計画

重点目標	接遇と介護・医療・認知症ケアの専門的な知識や技術を身につけ、適切に対応できる職員を増やします。
年 度 目 標	
①	職員自らが学習する機会を持ち、得た知識を他の職員へフィードバックするという取り組みを行います。その中で他者が理解しやすい表現方法を学び、双方向の研修を実施します。
②	外部研修にも積極的に参加し、得た知識や技術を職員全体で共有します。
③	看護・介護支援専門員などの専門職から指導を行い、介護技術のスキルアップに努めます。
中 長 期 目 標	
①	専門的な知識や技術を身につけることで、様々な要望に対応できる職員を増やす事で、福寿苑全体の質を上げます。

【研修計画】

月	項目	内容	参加者
4月	法定遵守について	法定遵守について理解し、より良い支援を行う。	全職員
	防災（BCP）について	BCPについて学び、シュミレーションを行い、災害時に対応することができるように理解する。	全職員
5月	認知症の中核症状を行動・心理症状について	認知症の種類、周辺症状について理解し、ご利用者一人一人の気持ちに寄り添った対応をする。	全職員
	事故防止対策について	ヒヤリハット報告書を基に事故対策について検討を行い、安全に生活を送ることができるよう支援する。	全職員

月	項目	内容	参加者
6月	感染症について（ノロウイルスについて）	ノロウイルスなどの感染症の種類・原因・予防・感染経路を経つ・どのような対策が必要になるかを学び汚物処理（シュミレーション）ができるようになる。	全職員
7月	虐待について 口腔ケアについて	不適切ケア、グレーゾーンについて考え、自身の行っているケアについて振り返りを行うことで、適切なケアを行う。 口腔ケアの重要性を学び、適切な介助方法を理解する。	全職員 全職員
8月	ケアプランについて 施設の種類について	ご利用者の生活歴を踏まえたアセスメントを行い、その方にあったケアを行う。 介護施設の種類を理解し、グループホームでの過ごし方について考え、ケアを行う。	全職員 全職員
9月	身体拘束について ハラスメント対策について	身体拘束、ハラスメントについて理解し、過ごしやすい環境作りを行う。	全職員
10月	防災（BCP）について	防災について理解し、災害時に適切に行動を行うことができるように訓練（シュミレーション）を実施し、その都度対応について考える。	全職員
11月	事故防止対策について	ヒヤリハットと事故報告書の違いを理解し、過ごしやすい環境作りを行う。	全職員
12月	感染症（BCP）について ～インフルエンザ・コロナウイルスについて～	インフルエンザやコロナウイルスの種類を理解し、予防対策・発症時の対応（シュミレーション）ができるようになる。	全職員

月	項目	内容	参加者
1月	防犯について	防犯について理解し、緊急時に対応を行う。	全職員
	虐待について	虐待について理解し、安心、安全に生活を送ることができるように支援を行う。	全職員
2月	身体拘束について	ご利用者の状況に合わせて、ケアの内容を振り返りを行い、職員間での共有、検討を行う。	全職員
3月	緊急対応について ～日中・夜間～	緊急時の対応の手順を理解し 応急処置ができるようになる。 心肺蘇生法・食べ物による窒息 の応急処置の講習（シュミレー ション）	全職員
	看取り、重度化について	看取り、重度化について学び、 状況に応じた統一したケアを 行うことができるように理解 する。	全職員

*認知症の方に対しての対応方法を常に考えて研修を行います。

*入居者の方の自立支援と尊厳の保持を念頭に置いて業務並びに学習を行います。

*今治グループホーム交流会（2 か月 1 回）の勉強会にも積極的に参加します。

*接遇について：身だしなみ・言葉遣い・電話・まだ見ぬ介護者へ・お茶の出し方の 5 項目を 1 項目ずつ、毎月実施する。

5. その他の重要な取り組み

(1) 新型コロナウイルス感染症予防及びまん延防止対策

日々の健康管理をおこない、基本的な手洗い、うがい、手指消毒、換気を努め、「感染源を持ち込まない、持ち出さない、拡げない」ように努めます。

(2) ハラスメント対策

ハラスメントにつながる言動や行動について理解し、職員間で話し合うことができる関係性を高め、相手の気持ちに立って関わることで働きやすい職場作りに努めます。

(3) 地域における公益的な活動

地域での行事の情報を収集し、積極的に参加を行います。その際には、地域の住民の方に福寿苑を知って頂き、様々な相談の窓口になることができるように努めます。

定期的に、居宅介護支援事業所・地域連携室を訪問し、お互いに相談ができる関係づくりに努めます。

(4) 介護職員等処遇改善加算への取り組み

資格取得を目指し、必要な研修へ参加し、スキル向上への意識を高めることができるよう努めます。

事業所名 : グループホーム 鶴翠

1. 理念・基本方針

運営理念	職員の専門性を発揮し、個別サービスを行うことで、ご利用者 とご家族へ安心と安定を提供します。
運営方針	<p>⑦ ご利用者のありのままを受け入れ、鶴翠で生活することで尊 厳のある人生を送って頂けるように支援します。</p> <p>⑧ 体調管理や心身の状態観察と把握に努め、ご家族、ご利用者 ともに、ホームでの暮らしに安心感を持っていただけるよう に支援します。</p> <p>⑨ ご家族や地域の方々との交流を図り、いつでも気軽に来苑出 来る施設を目指します。</p> <p>⑩ 職員の能力・資質の向上を図り、施設サービスの向上に努め、 様々な状況に対応できる支援を行います。</p>

2. 重点目標

重点目標	多職種の職員がチームとしてしっかりとまとまり、ご利用者の尊 厳を第一に考え、個別性を重視したケアを行います。
年 度 目 標	
①	ご利用者の生活上の課題をチームで話し合っ、的確に捉えると ともに、多職種で協働して介護計画を作成した上で個別ケアに努 めます。
②	職員全員がご利用者の疾病や服薬状況の把握と健康状態につい ての情報の共有に努め、異常の早期発見と受診を行い、ご利用者 が安心して生活することができる環境作りを行います。
③	ご利用者一人ひとりの個別性を重視し、人生観・生活歴などその 人らしさに着目した楽しみや生きがい作りを支援します。
中 長 期 目 標	
①	ご利用者のご家族や地域の関係者と運営推進会議を活用して情 報共有を行い、ご利用者の状態の安定と安全を第一に考え、グル ープホーム鶴翠に長く住み続けて頂くことができるよう支援し ます。

重点目標	ご利用者の体調管理と早期の異変の発見に努め、長期入院等による空床を防ぎます。また、居宅介護支援事業所や病院との連携を密に行い、待機者獲得へ積極的に営業活動に取り組み、稼働率と収益の向上に努めます。
年 度 目 標	
①	基本の感染予防対策を継続し、ご利用者が安全で健康な生活を送ることができるように毎日の状態観察を行います。その上で、ご利用者の異変の早期発見と早期対応を行い、空床が長期にならないように適切なベットコントロールを行い、稼働率の向上を目指します。
②	ご利用者の状態が適切な介護度であるか、住環境についての経費は適切であるかを常に意識して取り組みます。特に電気の使用は共有・居室問わず、無駄のないように努め、備品の使用量・頻度の再検討について細かく状況を記録し、経費削減に努め、安定した運営に努めます。
③	地域の病院、施設、居宅介護支援事業所、住宅に対して計画的に訪問し、積極的に営業活動を行います。ただ訪問するだけでなく、しっかりとコミュニケーションをとり、先方のニーズをリサーチに努め、法人全体を意識して一人でも多くの亀天会のファンを作ることができるように努めます。
中 長 期 目 標	
①	ご利用者の現状についてしっかりと把握し、その人にあった介護保険サービスの選定を行い、ご利用者や関わる職員の双方にも無理なく、前年度以上の収益向上を意識した運営を目指します。

3. 行事計画

重点目標	すべての職員が認知症の症状をしっかりと理解した上で、集団と個別で楽しめる四季の特性を踏まえた楽しいイベント作りを行います。
年 度 目 標	
①	身体の五感に訴えかけられるプログラムを計画、実践し、認知症の進行予防に努めます。
②	ご利用者個別のプログラムについて、日常生活の中での気付きを大切にし、得意なことや興味のあることを題材にしたレクリエーション活動の充実を行います。
③	近隣施設と連携しながら地域、学生ボランティアを招聘し、交流を踏まえたイベントを開催します。
中 長 期 目 標	
①	運営推進会議や営業活動を通じて、苑での活動内容を積極的に発信し、地域に開けた運営を行い、グループホーム鶴翠を更に知ってもらい、新規入居者獲得にも繋がる取り組みを行います。

【行事予定】

月	行事名	内容	予算
4月	お花見	お花見のドライブに出かけ季節感を味わう。お茶菓子提供。	2,000円
	誕生会	ご利用者、職員全員でお祝いを行います。	7,000円
5月	端午の節句	こいのぼりや兜を作成、飾りつけし、端午の節句をお祝いします。	1,000円
	藤の花見学	藤のお花見にドライブに出かけます。	1,000円
	運営推進会議	運営状況・行事報告、意見交換行ないます。	無料
	防災訓練 消火設備点検	ご利用者と防災訓練を行います。	無料

月	行事名	内容	予算
6月	季節の花見見学	季節の花々を見に、外出ドライブ等で気分転換を図ります。	1,000円
	おやつイベント	ご利用者と一緒に季節のおやつを作成し、交流を深めます。	2,000円
	誕生会	ご利用者、職員全員でお祝いをします。	7,000円
7月	七夕	七夕飾りと笹飾りを作り施設を飾りつけします。	3,000円
	夏まつり	夏まつりを企画し、ご家族にも参加して頂くことでご利用者、ご家族、職員での交流を行います。	5,000円
	誕生会	ご利用者、職員全員でお祝いをします。	7,000円
	運営推進会議	運営状況、行事報告、意見交換等を行います。	無料
8月	夏遊び	1階、2階で交流会を行い、ご利用者同士の親睦を深めます。	3,000円
	おやつイベント	地域のボランティアに来苑して頂き、ご利用者と一緒に季節のおやつを作成し、交流を深めます。	2,000円
	誕生会	ご利用者、職員全員でお祝いをします。	7,000円
9月	敬老会	ご家族、地域の方々を招待して敬老会を行い、地域交流を行います。	5,000円
	お月見	お月見会を開き、季節感を感じて頂きます。	2,000円
	運営推進会議	運営、行事報告、意見交換を行います。	無料
10月	秋祭り（地域）	子供みこしや地域の獅子舞を楽しみ、地域の方と交流します。	無料
	運動会	ご利用者と一緒に運動会を開催します。	3,000円
	秋祭り（施設）	皆でお神輿を作成し、鶴翠秋祭りを行います。	1,000円
	誕生会	ご利用者、職員全員でお祝いをします。	7,000円

月	行事名	内容	予算
11月	文化祭	ご利用者、職員参加の文化祭を開催します。喫茶コーナー開催。	3,000円
	おやつイベント	ご利用者と一緒に季節のおやつを作成し、交流を深める。	2,000円
	誕生会	ご利用者、職員全員でお祝いをします。	7,000円
	運営推進会議	運営状況、行事報告、意見交換を行います。	無料
12月	クリスマス会	ご家族を招待し、ご利用者の手作り作品を作り、ご家族との交流を支援します。	15,000円
	お餅つき	皆で餅つきを行い、年末に向けた準備をすることで、年の瀬を感じて頂きます。	(ケーキ含む) 2,000円
1月	新年会	新年の抱負を、書初めで書き、正月の雰囲気味わいます。	1,000円
	書初め	ご利用者と一緒にぜんざいを手作りし、楽しんで頂きます。	2,000円
	誕生会	ご利用者、職員全員でお祝いをします。	7,000円
	運営推進会議	運営、行事報告、意見交換を行います。	無料
2月	節分	節分行事で豆まきやゲームを楽しんで頂きます。	2,000円
	バレンタイン	バレンタインのお菓子を作り、食事レクとして楽しんで頂きます。	3,000円
3月	雛祭り	お雛祭りを楽しんで頂き、同時に1階、2階の交流を行います。	1,000円
	ホワイトデー	食事レクとしておやつを作成し、1階、2階の交流を行います。	2,000円
	誕生会	ご利用者、職員全員でお祝いをします。	7,000円
	運営推進会議	運営、行事報告、意見交換を行います。	無料

4. 研修計画

重点目標	認知症介護に携わる自覚を持ち、自己研鑽に努め、ご利用者の生活を守るための技術や対応方法を身に付けます。
年 度 目 標	
①	内部研修の開催と外部研修への参加を積極的に行い、高齢者福祉に携わる者としての知識と技術の習得を目指します。また、学習した知識を施設に還元し、職員の質の底上げを図ります。
②	まん延する感染症や予測される大規模災害に備え、ご利用者が安全に苑での生活が継続出来るように、平常時の学習、準備、情報取得に努め、緊急時への対応力を身に付けます。
③	介護福祉士、介護支援専門員、社会福祉士等の資格取得を目指し、技能実習生は日本語試験、介護技術試験の合格を目指して、関わる職員全員が個々のスキルアップを目指します。
中 長 期 目 標	
①	法人職位や苑での役割と業務内容を職員全員が理解し、職員個々が次のステップに達するために、どういったアプローチが必要かをしっかりと順序を立てて勉強を行い、次席者の育成に努めます。

【研修内容】

月	予定（テーマ）	目標	担当者
4月	① 倫理、法令遵守 ② ハラスメント防止について	① 介護職員としての定義や義務を学び、法令遵守の基本姿勢、基本原則を学ぶ。 ② セクハラ、パワハラ、マタハラ、カスハラについての理解を深める。	介護職員
5月	① 感染症予防と対策について ② B C P について（感染）	① 食中毒について学び、調理器具の清掃方法や、利用者の吐物の処理の仕方を学習する。 ② B C P についての理解を深め、感染症流行直後の業務を継続するために必要なポイントを学ぶ。	看護職員 管理者

月	予定 (テーマ)	目標	担当者
6月	① 接遇とコミュニケーションについて ② 身体拘束と虐待について (スピーチロック)	① 基本方針の丁寧な言葉遣い、礼儀の大切さ、尊厳を込めた気持ちを含めて、社会人としてのマナーを学ぶ。 ② 拘束の中からスピーチロックに焦点をあて、相手のペースや世界観を理解する大切さを学ぶ。	介護職員
7月	事故発生、緊急時の対応	施設内において特に多い、転倒事故が起きた場合の対処について学習し、またその記録の仕方についても学ぶ。	介護職員
8月	① 災害対策について ② B C P について (災害)	① 災害時の対応について、職員の役割、施設内の点検ポイントを確認する。 ② B C P についての理解を深め、災害直後の業務を継続するために必要なポイントを学ぶ。	介護職員 管理者
9月	① ケアプランと介護記録について ② 口腔ケアの重要性について	① 介護計画に基づいた記録及び、誰が見ても理解できる記録の書き方を学ぶ。 ② 口腔ケアが身体に及ぼす影響と、ケアプランにどういう観点で組み込むかについて学ぶ。	介護職員
10月	① 介護現場におけるリスクマネジメントについて ② 看取りと重度化ケアについて	① 介護現場でのリスクマネジメントについて学び、日々のケアにおいて重要な危険予知に関する知識の向上を図る。 ② 看取りや重度化ケアについて、ご利用者やご家族の意向を踏まえての対応について学ぶ。	介護職員 看護職員

月	予定 (テーマ)	目標	担当者
11月	① 感染症予防と対策について (新型コロナ、インフルエンザ) ② B C P について (感染)	① 新型コロナウイルス、インフルエンザの感染者が発生した場合の対応と、予防法や事前準備について学習する。 ② B C P についての理解を深め、感染症流行直後の業務を継続するために必要なポイントを学ぶ。	看護職員 管理者
12月	身体拘束と高齢者虐待について	介護放棄や環境整備、整容、記録類の不備等、普段の業務を振り返りつつ意見の交換を行い、情報提供やご家族とのコミュニケーションの重要性を再認識する。	介護職員
1月	① 防犯対策について ② B C P について (災害)	① 施設に侵入してきた不審者への対応について、現状のルールと設備で大丈夫か、どのような順番で、どんな準備が必要かを話し合う。	介護職員 管理者
2月	個人情報とプライバシー保護	業務上のプライバシー保護とは具体的にどのようなことを指すのか、情報漏洩だけでなく、日常会話の中で対象者を軽視している発言はないか、実際の振り返りを通して考える。	介護職員
3月	令和5年度の事業計画について	来年度の事業計画をもとに、鶴翠の目指す方向性を示す。	管理者

- <外部研修>
- ・在宅介護研修センター主催
 - ・社会福祉協議会主催
 - ・認知症介護実践者研修
 - ・グループホーム協会主催
 - ・介護職員初任者研修
 - ・介護福祉士実務者研修
 - ・技能実習関係研修 (指導員、相談員、管理者)

5. その他の重要な取り組み

(1) 新型コロナウイルス感染症予防及びまん延防止対策

1 作業 1 手洗い、定時の換気、マスクの着用、苑内の毎日の清掃と消毒といった基本的な衛生管理を継続し、感染予防を行います。また、感染者が発生した場合も適切な対応が出来るように、平常時に研修会を定期的に行います。加えて、必要物品の備蓄と管理にも努めます。

(2) ハラスメント対策

研修会や勉強会を開催し、職員全員がどのようなことがハラスメントにあたるのかを理解し知識を身に付けます。その上で、周囲の意見や考え方を傾聴し、多様な考え方を受容することが出来る人間形成と組織の構築を目指します。

(3) 地域における公益的な活動

ご利用者、ご家族、地域住民、行政職員等と定期的に話し合いを行い、認知症介護についての悩みや相談、防災訓練等を共に行い、地域福祉の拠点としての役割を果たします。

(4) 介護職員等処遇改善加算への取り組み

管理者と職員とは面談を定期的に行い、各種休暇が取得しやすい環境作りや、認知症関連の研修及び資格取得のための法人からの支援システムについても、積極的に活用を促し、専門的スキルの向上と人材育成及び、主任、副主任、介護リーダー等の役職者の増員を目指します。

事業所名 : ケアハウス鶴翠苑

1. 理念・基本方針

運営理念	ご利用者が喜怒哀楽の感情を豊かに表現することができるようご利用者らしさを大切に施設運営を行います。
運営方針	<p>⑪ ご利用者の思いに寄り添った支援を行うことで、ご利用者の楽しみを2倍にし、悲しみを分かち合うことのできるような環境作りに努めます。</p> <p>⑫ ご利用者の人権を尊重し、安心、安全な笑顔あふれる生活を送っていただくことを目指し支援を行います。</p> <p>⑬ 自立した生活を継続することができるように介護、看護、機能訓練等の専門スタッフのチームケアによる充実したサービスの提供を行います。</p>

2. 重点目標

重点目標	ケアハウスでの生活が笑顔あふれるものになるようご利用者のことを一番に考え、人生の先輩に礼儀正しく接することができる高齢者介護のプロとしての人間形成を行います。
年 度 目 標	
①	ご利用者が活気ある生活を送れるよう、毎日の見守り業務を重視し、ご利用者への目配り、気配り、丁寧な声掛けを意識して支援を行います。
②	ご利用者に対して自立支援を基本としながら、ご利用者と職員と一緒に居室の整理等行うことで出来なくなったことへの喪失感の軽減に努め、ともに生活していることを感じ、生きがいややりがいを見つけていただけるよう努めます。
③	ご利用者の重度化に対応できるよう認知症ケア、排泄介助、口腔ケア等の学習に力を入れ、高齢者介護に必要な介護知識、技術レベルの向上に努めます。
中 長 期 目 標	
①	屋内での様々な取り組み（健康体操、レクリエーション、脳トレクイズ、クラブ活動、季節の行事等）の実施と外出行事、地域のイベントへご利用者と職員と一緒に参加する機会を増やす等屋外での活動に力を入れ、ケアハウスを知っていただき、入居希望者及び待機者の確保に繋がります。

重点目標	毎日の食事量、水分量に注意し、脱水症・尿路感染症・便秘・血管梗塞等の疾患の予防に努め、心身共に健康な生活が送れるよう健康管理に努めます。
年 度 目 標	
①	毎日の水分量が 1000 cc/日以下にならないようチェックし、水分摂取への適切な指導、助言が行える関係の構築に努めます。
②	多職種協働により、個別機能訓練の充実を図ることでご利用者の ADL の維持、残存機能の低下防止に努め、活気ある生活を送っていただきます。
③	外出の機会を増やし、体を動かすことが廃用予防と筋力維持につながることをご理解いただき、運動の機会を楽しんでいただけるよう指導、助言を行います。
中 長 期 目 標	
①	ご利用者との信頼関係を築くことにより、どんなことでも相談でき、喜怒哀楽の感情を表現してもらえるよう感情に寄り添う支援を行います。

3. 行事計画

重点目標	ご利用者が活気ある生活を送れるよう季節感を味わい、楽しんでいただける行事の企画、実施を行います。
年 度 目 標	
①	おやつイベント、外出、誕生会等の行事がマンネリ化しないよう新しい企画を盛り込み、ご利用者が主役となり楽しんでいただける時間を作ります。
②	ご家族、地域の方々、ボランティア等へのイベント参加を呼びかけ、自由に訪問していただける開かれた施設としての環境づくりに努めます。
③	感染症予防の徹底により、ご利用者とご家族の交流ができ、思い出となる場所と時間の提供を行えるよう様々な施策を考え、実施します。
中 長 期 目 標	
①	ご利用者と職員が、地域住民との交流を深め、地域に受け入れられ、地域の方に入居したいと思っただけの頼られる施設を目指し、新規入居者の獲得にも繋がります。

【行事予定】

月	行事名	内容	予算
4月	誕生会	4月の誕生者のお祝いを行う。	5,000円
	買い物(2回)	希望者を募り、近所のスーパーへ外出。	1,000円
	おやつイベント	季節感を味わう。	3,000円
	カラオケ(2回)	のど自慢交流を行う。	
	運営懇談会	運営状況報告、意見交換を行う。	
5月	端午の節句	折り紙、ちぎり絵でこいのぼりを作り、五月人形を飾る。	1,000円
	菖蒲湯	入浴時の気分転換を図る。	1,000円
	誕生会	5月の誕生者のお祝いを行う。	5,000円
	買い物(2回)	希望者を募り、近所のスーパーへ外出。	1,000円
	ドライブ	希望場所選定、季節感、景色の良い場所へ。	1,000円
	カラオケ(2回)	のど自慢交流を行う。	
	避難訓練 (GH 鶴翠と合同)	火災・水害・地震想定の訓練を行う。	
6月	父母の日	カーネーション、カード、感謝状作成。	15,000円
	誕生会	6月の誕生者のお祝いを行う。	5,000円
	買い物(2回)	希望者募り、スーパーへ外出。	1,000円
	おやつイベント	季節感を味わう。	3,000円
	カラオケ(2回)	のど自慢交流を行う。	
7月	運営懇談会	運営状況報告、意見交換を行う。	
	七夕祭り	短冊に願いごとを記入、飾り付けを行う。	1,000円
	誕生会	7月の誕生者のお祝いを行う。	5,000円
	買い物(2回)	希望者を募り、近所のスーパーへ外出。	1,000円
	ドライブ カラオケ(2回)	希望場所選定、季節感、景色の良い場所へ。のど自慢交流を行う。	1,000円
8月	盆踊り	鶴翠との合同で夏祭りを開催する。	10,000円
	誕生会	8月の誕生者のお祝いを行う。	5,000円
	買い物(2回)	希望者を募り、近所のスーパーへ外出。	1,000円
	おやつイベント	季節感を味わう。	3,000円
	カラオケ(2回)	のど自慢交流を行う。	
	運営懇談会	運営状況報告、意見交換を行う。	

月	行事名	内容	予算
9月	秋祭り（敬老会）	ご利用者の長寿をお祝いし、ご家族参加型の催し物の実施。	30,000円
	誕生会	9月の誕生者のお祝いを行う。	5,000円
	買い物（2回）	希望者を募り、近所のスーパーへ外出。	1,000円
	ドライブ	希望場所選定、季節感、景色の良い場所へ。	1,000円
	カラオケ（2回）	のど自慢交流を行う。	
10月	運動会	体を動かし、ご利用者同士の交流を行う。	3,000円
	誕生会	10月の誕生者のお祝いを行う。	5,000円
	買い物（2回）	希望者を募り、近所のスーパーへ外出。	1,000円
	おやつイベント	季節感を味わう。	3,000円
	カラオケ（2回）	のど自慢交流を行う。	
	運営懇談会	運営状況報告、意見交換を行う。	
11月	紅葉狩り	紅葉の名所で紅葉狩りを行う。	1,000円
	誕生会	11月の誕生者のお祝いを行う。	5,000円
	買い物（2回）	希望者を募り、近所のスーパーへ外出。	1,000円
	文化祭	ご利用者と職員が俳句を作り、品評する。	1,000円
	カラオケ（2回）	のど自慢交流を行う。	
	避難訓練	火災・水害・地震想定の訓練を行う。	
	(GH 鶴翠と合同)		
12月	クリスマス会	食事とおやつを工夫して提供、職員の出し物を楽しんでいただく。	20,000円
	ゆず湯	入浴時の気分転換を図る。	1,000円
	誕生会	12月の誕生者のお祝い	5,000円
	買い物(2回)	希望者を募り、近所のスーパーへ外出。	1,000円
	おやつイベント	季節感を味わう	3,000円
	カラオケ（2回）	のど自慢交流を行う。	
	運営懇談会	運営状況報告、意見交換を行う。	
	防犯講習会	特殊詐欺や不審者への対応について学ぶ。	

月	行事名	内容	予算
1月	新年会	新年の挨拶、ご利用者・職員による新年の抱負の発表を行う。	20,000円
	初詣	希望参拝場所にご家族と共に外出。	2,000円
	誕生会	1月の誕生者のお祝いを行う。	5,000円
	買い物(2回)	希望者を募り、近所のスーパーへ外出。	1,000円
	おやつイベント	季節感を味わう。	3,000円
	映画鑑賞会	感染症予防対策期間に応じる。	
2月	節分	ご利用者による豆まき、無病息災を願う。	5,000円
	誕生会		5,000円
	買い物(2回)	2月の誕生者のお祝いを行う。	1,000円
	おやつイベント	希望者を募り、近所のスーパーへ外出。	3,000円
	ドライブ(観梅会)	季節感を味わう	1,000円
	映画鑑賞会 運営懇談会	希望場所選定、梅が綺麗に咲いた場所へ。 感染症予防対策期間に応じる。 運営状況報告、意見交換を行う。	
3月	ひな祭り	ひな人形飾りの鑑賞・ひな祭り会を行う。	3,000円
	観桜会		1,000円
	誕生会	桜の名所で食事をしながら桜見物を行う。	5,000円
	買い物(2回)		1,000円
	おやつイベント	3月の誕生者のお祝いを行う。	3,000円
	ドライブ	希望者を募り、近所のスーパーへ外出。	1,000円
	カラオケ(2回)	季節感を味わう 希望場所選定、季節感、景色の良い場所へ。 のど自慢交流を行う。	

※新型コロナウイルス、インフルエンザ等の感染症予防の為、買い物、ドライブ、等の行事を変更・中止することがあります。

(その他)

クラブ活動として、月1回、絵手紙、習字、オセロ、園芸の各クラブを実施。

4. 研修計画

重点目標	ご利用者への安心・安全な生活環境及び質の高いサービス提供に必要な専門知識を職員全員で習得し、ご利用者の立場に立った適切な個別支援を行うことで、ご利用者のご家族と地域住民から信頼される職員を育成します。
年 度 目 標	
⑤	内部研修においては、一人一人が積極的に発言し、学び合い、切磋琢磨することで、研修の場が活性化し、福祉の仕事への情熱と高い倫理観を持った医療福祉の専門職を目指します。
⑥	外国人技能実習生が、言葉や知識、技術を深めるために、日本人職員全員が育成、指導に携わることができるよう取り組んでいきます。また、相互に刺激し合いながら、思いやりのある人間形成に努めていきます。
⑦	あらかじめの課題を設定し、共通のテーマについてグループワークを積極的に行い、職員が自主的に学習して研修に臨むことで、各職種の専門性の向上と学習する組織風土を作ります。
中 長 期 目 標	
②	研修の場が活性化するように、自己啓発を行い、勉強する努力をし、自分たちの一つ一つの言動が、ご利用者にとってどうなのかを一番に考える礼儀正しい職員を目指します。

【研修計画】

月	項目	内容	参加者
4月	① 法令順守、個人情報保護について ② セクシャルハラスメント等、職場におけるハラスメント防止について 外部研修	① 法令順守の基本姿勢、基本原則を学び、施設での個人情報保護の取り扱いについても学習する。 ② 職場におけるハラスメント防止について学習する。	全職員 生活相談員
		愛媛県在宅介護研修センター	

月	項目	内容	参加者
5月	① 感染症予防と対策について（食中毒） ② BCP（感染症）について 外部研修	① 食中毒について学び、実践を通して対処方法を学習する。 ② 感染症対応事業継続計画について情報共有を行う。 愛媛県在宅介護研修センター	全職員 看護師
6月	① 接遇とコミュニケーションについて ② スピーチロックについて（身体的拘束等適正化） 外部研修	① 基本方針の丁寧な言葉遣い、礼儀の大切さ、尊厳を込めた気持ちを含めて、社会人としてのマナーを学ぶ。 ② 身体拘束が、ご利用者に及ぼす影響について学習する。 愛媛県在宅介護研修センター	全職員 生活相談員 介護職員
7月	災害及び防犯対策について 外部研修	防災の日を迎える前に施設での安全対策、災害を想定した事前準備を確認し、意識付ける。 愛媛県在宅介護研修センター	全職員 看護師 介護職員
8月	① 事故発生時の対応について ② 緊急時の対応について（オンコールマニュアルの周知） 外部研修	① 施設内において特に多い転倒事故が起きた場合の対処について学習する。 ② 緊急時の対応、24時間体制についての周知を図る。 愛媛県在宅介護研修センター	全職員 看護師 介護職員
9月	① 身体的拘束等適正化について ② 高齢者虐待の防止について 外部研修	① どのような行為が身体的拘束にあたるのかをきちんと理解し、身体拘束が入居者に及ぼす影響について学習する。 ② ケアハウスの現状についてチェックリストを活用し、振り返りを行う。 愛媛県在宅介護研修センター	全職員 介護職員

月	項目	内容	参加者
10月	口腔ケアと栄養について 外部研修	高齢者の口の中の状態が栄養摂取とどのように結びつくかについて学習する。 愛媛県在宅介護研修センター	全職員 栄養士 介護職員
11月	① 感染予防と対策について（新型コロナウイルス、インフルエンザ） ② BCP（感染症）について 外部研修	① 新型コロナウイルス、インフルエンザの感染者が発生した場合の対応と予防法や事前準備について学習する。 ② 感染症の発生を想定し、役割分担・業務の進め方についてシミュレーションを実施し、評価を行う。 愛媛県在宅介護研修センター	全職員 介護職員 看護師
12月	ケアプランと介護記録について 外部研修	介護計画に基づいた記録及び誰が見ても理解できる書き方を学習する。 愛媛県在宅介護研修センター	全職員 介護職員
1月	機能訓練とレクリエーションについて 外部研修	毎日のレクリエーションを機能訓練と連動させ、ご利用者のADLの維持、向上に繋げるためにはどうすればよいかを考えることができるように学習する。 愛媛県在宅介護研修センター	全職員 機能訓練相談員 介護職員
2月	介護現場におけるリスクマネジメントについて 外部研修	介護現場でのリスクマネジメントについて学び、日々のケアにおいて重要な危険予知に関する知識の向上を図る。 愛媛県在宅介護研修センター	全職員 介護職員

月	項目	内容	参加者
3月	① 認知症ケアと虐待防止について	① BPSD（行動、心理状態）の理解を深め、認知症の対応方法を学習する。併せて認知症と虐待防止についても考える。	全職員
	② 令和6年度の事業計画について 外部研修	② 来年度の事業計画をもとにケアハウスの目指す方向性を示す。 愛媛県在宅介護研修センター	介護職員

5. その他の重要な取り組み

(1) 新型コロナウイルス感染症予防及びまん延防止対策

感染症予防に関する研修、委員会の実施、BCP（事業継続計画）の周知徹底等により感染症予防への職員の意識向上を図り、ご利用者と一緒に施設全体で感染症予防に努めます。

(2) ハラスメント対策

内部研修等で法人としてのハラスメントへの取り組みを周知し、ハラスメントへの理解を深め、施設全体で職員一人一人が働きやすい職場環境について考え、笑顔で働ける環境づくりを行います。

(3) 地域における公益的な活動

職員が地域のイベントや奉仕活動に積極的に参加します。また地域の方には防犯、防災訓練等に参加していただくことでケアハウスへの理解を深めていただき、定期的な活動交流を図ります。そして、この地域にとって何が求められているかを敏感に察知し、地域へ貢献できる活動を増やしていきます。

(4) 介護職員等処遇改善加算への取り組み

働きながら資格取得を目指す職員への支援や資質向上のための計画に沿った研修機会の提供または技術指導等を実施するとともに介護職員の能力評価を行います。また、職員にやりがい、働きがいを感じてもらえるよう職場内のコミュニケーションの円滑化に努め、職員の意見を良く聴き、反映させることにより施設全体で職場環境の改善に取り組みます。

事業所名 : 特別養護老人ホーム 大師苑

1. 理念・基本方針

運営理念	西条地域で生活されている要支援、要介護者の方を状態に合わせ幅広く受け入れ、人生の最後までお世話をさせていただけるよう認知症への理解や介護技術の向上、医療機関との連携を深め、地域に根差した介護福祉施設事業を実施致します。
運営方針	<p>⑭ ご利用者の全体像を把握し作成した介護計画を基に、ご本人とご家族の意向を反映した個別ケアを実施していきます。</p> <p>⑮ 中重度化するご利用者へ幅広いサービスの提供ができるよう、職員の資質向上に努めるとともに、医療機関との連携を密に行い、利用者に安心、安全を提供いたします。</p> <p>⑯ 地域における社会資源としての役割を担い、地域住民が集える、開かれた施設を目指します。</p> <p>⑰ 法人が実施する旧西条地区のサービス提供において中心的な働きを担い、お客様への十分なサービス提供が出来るように各事業所との連携を強化します。</p>

2. 重点目標

重点目標	介護技術と知識に加え、介護機器の導入を行うことで、サービスの充実化を図り、ご利用者の生活がより安心して安全なものになるように努めます。
年 度 目 標	
①	ICTの導入を行い、ご利用者の24時間の生活リズムを把握することで、リスクマネジメントに努め、ご利用者に安心して安全な生活の場の提供を行います。
②	多職種協働でカンファレンスを行い、ケアプランに沿った24時間シートを作成することで、充実した個別ケアの提供に努めます。
③	他職種間でモニタリングを継続し、ご利用者の変化や異常について情報共有することで、多角的な視点からご利用者の状態に合わせた支援に努めます。
中 長 期 目 標	
①	地域密着型の施設としてご利用者がどのような介護状態になっても住み慣れた地域で生活し続けていけるよう、幅広い支援を行える施設を目指します。

重点目標	専門職の知識と技術を最大限に生かし、ご利用者の日常の状態把握を行い、他職種と連携して異常の早期発見と状況に応じたケアを提供します。
年 度 目 標	
①	職員の体調に感染症の兆候がみられる時には速やかな報告、連絡、相談を行い、「持ち込まない・広げない・持ち出さない」を継続致します。
②	ご利用者の健康状態を把握し、怪我や褥瘡のないケアに取り組み、発生時には多職種で情報共有、アセスメント、統一したケアを提供します。
③	ご家族、医療機関との連携を密に図ることで、ご利用者の体調不良時の早期受診、また入退院時の適切な支援に努めます。
中 長 期 目 標	
①	感染予防対策を随時更新する。また、怪我、褥瘡なく以上の早期発見に努め、安全な生活が送れるよう支援します。

3. 行事計画

重点目標	ご利用者の「楽しみ」や「生きがい」となる行事を実施することで、ご利用者のQOLの向上を図り、より充実した施設生活の提供を目指します。
年 度 目 標	
①	季節や地域の特色に沿った行事を実施することで、四季や時間の経過を感じていただき、社会との関わりを持ち続けることが出来るように努めます。
②	月に一度、行事委員会を開催することで、行事企画のシミュレーションやレクリエーション活動の充実を図り、ご利用者へのサービスの向上に努めます。
③	運営推進会議や日常生活報告書を活用し、ご利用者の行事の様子や施設での日常生活の様子をご家族へ発信することで、ご利用者とご家族を繋ぐ取り組みに努めます。
中 長 期 目 標	
①	ご利用者が「生きがい」を感じることができ、ご家族が「安心」を感じられる施設運営を目指します。

【行事予定】

月	行事名	内容	予算
4月	桜の花見ドライブ	桜の花の名所をまわり車内から見学する	0円
5月	端午の節句 母の日	兜やこいのぼりの飾りを作成し、レクリエーションを楽しむ。 ご家族からのプレゼントや感謝の手紙を贈呈する。	0円 0円
6月	父の日	ご家族からのプレゼントや感謝の手紙を贈呈する。	0円
7月	七夕祭り	七夕飾りを作る	3,000円
8月	納涼祭	西条の花火大会に合わせ、施設の屋上で夕涼みを行う	15,000円
9月	敬老会	合同レクリエーション、職員の出し物を実施しご利用者に楽しんでいただく。	10,000円
10月	西条祭り見学 運動会	西条祭りを見学する。 ご利用者と職員全員が競技に参加し、ユニットごとに分かれ優勝を目指します。	0円 0円
11月	紅葉狩りドライブ	紅葉のきれいな名所をまわり見学する	0円
12月	クリスマス会 餅つき大会	クリスマスプレゼント、ケーキを準備し、レクリエーションを楽しむ。 ご利用者と職員でお餅をついたり、丸めたりしてお餅つきを楽しみます。	20,000円 1,500円
1月	初詣	施設近隣の神社を詣で、新年を祝います。	200円
2月	節分 バレンタインデー	職員が鬼役を演じ、ご利用者に豆まきを楽しんでいただく。 職員の手作りチョコレートを食べ楽しむ。	0円 2,000円
3月	ひな祭り おやつイベント	手作りのひな飾りを作成し、ひなあられを食べながら鑑賞する。 栄養士が企画し、バイキング方式でご利用者におやつを提供する。	0円 2000円

4. 研修計画

重点目標	ご利用者の尊厳を守り、その人らしい生活を送って頂くための統一されたサービスの提供に必要な知識や技術の習得、専門性の向上を目指します。
年 度 目 標	
①	介護施設従事者に必要な基礎知識や技術を習得できる内部研修を行い、根拠に基づいた安心・安全なケアの提供を行います。
②	外部研修への参加を通して、専門職としての知識、技術、専門性の向上を図ることで、各職種の役割を認識し、より質の高い多職種協同を目指します。
③	キャリアごとに、認知症介護基礎研修、認知症実践者研修、認知症実践者リーダー研修等の受講や介護福祉士等の資格の取得を促し、認知症への理解を深め、介護技術の向上に努めます。
中 長 期 目 標	
①	専門職がそれぞれ専門性を発揮し、多職種連携を図りながら多角的な支援が出来るように努めます。また、根拠を理解し、臨機応変な対応が出来る人材の育成に努めます。

【研修計画】

月	項目	内容	参加者
4月	・虐待防止について ・法令遵守について	・対人援助の基本を学び虐待防止に努める ・介護施設におけるモラル（倫理）とコンプライアンス（法令遵守）	全職員
5月	・事故防止について	・防ぐべき事故をなくすためのリスクマネジメント	全職員
6月	・感染症予防について	・感染症予防について ・感染症発生時における業務継続計画の理解とシミュレーション	全職員
7月	・褥瘡予防について	・介護現場における褥瘡予防の理解	全職員
8月	・身体拘束廃止について	・身体拘束が引き起こす問題について理解する	全職員

月	項目	内容	参加者
9月	・防災について	・災害発生時における業務継続計画の理解とシミュレーション	全職員
10月	・看取りについて ・ハラスメントについて ・防犯について	・看取り介護の基本的な理解 ・介護現場のためのハラスメント対策 ・社会福祉施設等における防犯にかかる安全の確保、訓練	全職員
11月	・事故防止について ・口腔ケア、栄養について	・ヒヤリハットの分析方法、介護現場での考え方 ・口腔ケア、栄養について	全職員
12月	・感染症予防について	・介護現場における感染症対策の進め方 ・感染症発生時における業務継続計画の理解とシミュレーション、BCPの見直しと検討	全職員
1月	・虐待防止について	・高齢者虐待防止について	全職員
2月	・身体拘束廃止について ・防災について	・身体拘束廃止の為のケア方法を理解する ・災害発生時における業務継続計画の理解とシミュレーション、BCPの見直しと検討	全職員
3月	・褥瘡予防について ・看取りについて	・褥瘡予防のためのスキンケア ・看取り重度化対応について	全職員

5. その他の重要な取り組み

(1) 新型コロナウイルス感染症予防及び蔓延防止対策

地域の感染状況を把握し、状況に応じた感染症予防対策を都度検討します。また、罹患を疑うご利用者が発生した場合に速やかに対応が出来るよう物品の管理とシミュレーションを兼ねた勉強会を実施します。

(2) ハラスメント対策

内部研修でハラスメントに対する正しい認識を持つことにより、未然にハラスメントへの防止をするとともに、コミュニケーションの停滞を解消し、風通しの良い職場環境作りに努めます。

(3) 地域における公益的な活動

地域行事や学生ボランティアの受け入れを積極的に行うことで、地域交流の拠点となり、社会資源としての役割を果たし、地域に根差した施設運営に努めます。

また、低所得で生計が困難である方へ社会福祉法人等による生計困難者等に対する介護保険サービスに係る利用者負担額軽減制度等のような制度のご紹介を積極的に行い、利用に繋がりたいと思います。

(4) 介護職員等処遇改善加算への取り組み

業務手順書の作成や、記録・報告様式の工夫等による情報共有や作業負担の軽減に取り組みます。

事業所名 : 指定短期入所生活介護事業所 大師苑

1. 理念・基本方針

運営理念	西条地域で生活されている要支援、要介護者の方を状態に合わせ幅広く受け入れ、人生の最後までお世話をさせていただけるよう認知症への理解や介護技術の向上、医療機関との連携を深め、地域に根差した介護福祉施設事業を実施致します。
運営方針	<p>⑱ ご本人とご家族の意向を把握し在宅生活と施設サービスが連動して切れ目のないご利用者支援を実施していきます。</p> <p>⑲ 介護の必要な方へ幅広いサービスの提供ができるよう、職員の資質向上に努めます。</p> <p>⑳ 地域における社会資源としての役割を担い、地域住民が集える、開かれた施設を目指します。</p>

2. 重点目標

重点目標	ご利用者もご家族も、住み慣れた地域で安心安全な生きがいのある生活ができるように、幅広いご利用者の受け入れと専門的な支援を行います。
年 度 目 標	
①	ご利用者の生活歴や趣味・嗜好等をアセスメントすることで、個性に合わせたレクリエーションや役割の提供を行い、生きがいのある生活環境の整備を行います。
②	ご利用者の施設でのご様子や健康状態をご家族へ細かく情報提供することで、ご利用者・ご家族との信頼関係の構築に努め、「また利用したい」と思っただけのような施設を目指します。
③	西条地区、東予地区の様々な事業所や社会資源と連携を行い、ご利用者が住み慣れた地域で安心・安全のある生活を送って頂けるよう支援に努めます。
中 長 期 目 標	
①	地域の社会資源やサービスを柔軟に組み合わせ、ご利用者、ご家族が地域で楽しく、自分らしい生活を送れるよう支援いたします。

事業所名 : 居宅介護支援事業所 大師苑

1. 理念・基本方針

運営理念	ご利用者が住み慣れた地域で、健康を保ちながら自律した生活ができることを基本に、自らの選択で必要なサービスが利用できるよう、公正中立な立場で支援するよう努めます。
運営方針	<p>① ご利用者の状態・状況に応じて、ご利用者・ご家族の意向を尊重しながら、適切なサービスを多様な事業者から選択できるよう配慮します。</p> <p>② ご利用者の意思・人格を尊重し、公正中立な対応に努めます。</p> <p>③ 関係機関、市役所、包括支援センター、介護保険事業所、医療機関との連携に努めます。</p> <p>④ 同様に、地域との連携、交流に努め、災害時等でも協力、支援ができる体制の構築に努めます。</p>

2. 重点目標

重点目標	様々な地域資源や介護サービスの活用を行うことでご利用者が住み慣れた地域で安心して生活を送ることができるよう支援いたします。
年 度 目 標	
①	大師苑居宅を知っていただくため近隣住民や医療機関、介護事業所を訪問し関係の構築に努めます。
②	旧西条地区の地域資源や介護サービスを十分理解した上で、個々にあった支援、情報提供に努めます。
③	ご利用者や地域住民からの相談にも、懇切丁寧に対応すると共により迅速的確な提案、回答をすることで信頼感を得られるように努めます。
中 長 期 目 標	
①	ご利用者、地域住民、市役所等から信頼され、気軽に相談を頂ける事業所になります。
②	地域住民との協力を前提とした、大規模災害や新型コロナウイルス対策を含む、防災訓練計画を作成します。

重点目標	利用定員数に縛られない、その時に支援を必要とされる利用者、住民への真摯な相談、提案を行い、利用者数の獲得と地域貢献に努めます。
年 度 目 標	
①	感染予防対策を万全に行ったうえで、電話、来訪いずれでも、柔軟・迅速な対応ができる体制を確立します。
②	介護支援専門員各自が、独自・協力しながら、レベルアップに努めます。特に、法令改定内容については、早期の段階で確実に自分の力とします。
中 長 期 目 標	
①	最低限、関係する全サービスの改定内容については、十分な理解をした上で、日々の業務、相談対応をします。

3. 行事計画

地域福祉、行事計画については、人員数、新型コロナウイルス感染予防の影響による行事の中止や訪問の制限等を踏まえ、感染傾向の把握、地域の活動状況に応じて、柔軟に対応するものとします。

【行事予定】

月	行事名	内容	予算
年 1 回	介護教室	地域住民を施設へ招き、介護福祉に関する情報を発信します。	無料
8 月	納涼祭	併設施設の行事に合わせ、地域住民へ施設を開放し地域住民との交流を図ります。	10,000 円

4. 研修計画

重点目標	居宅介護支援事業所の専門職として、十分なスキルや対応を常時発揮できるよう、研修への参加を含む自己研鑽に努めます。
年 度 目 標	
①	事業所内での内部研修（居宅サービス会議）を、月 1 回継続して実施します。その際に、特養との連携、各利用者の状況を踏まえた相談、提案ができるようにします。

②	職員のスキル・保有資格に応じて、外部研修への積極的な参加を促します。知識向上と情報収集を行い、日々の業務へ反映させるように研修後の情報共有に努めます。
中 長 期 目 標	
①	介護支援専門員としてのスキルを向上させることで、ご利用者、ご家族に対して的確な居宅介護支援を提供します。
②	介護保険の専門職としてのスキルを、特に法人内の連携・業務の円滑化に活かせるよう、各施設・担当者との連携保持に努めます。

【研修計画】

月	項目	内容	参加者
毎月 1回	居宅サービス会議	介護保険以外当の制度の把握、疾病等の医療関係情報の確認、居宅介護支援各業務についての確認等。業務に必要な事柄について、職員が持ち回りでテーマを設定し、勉強会を行うことでスキル向上を図ります。	全職員
年 4 回 程 度	西条市ケアマネ連絡会	西条市、連絡会役員がテーマを決定する、業務を円滑に遂行するための勉強会に参加することで、スキルの向上を図ります。	全職員
随時	外部研修	県から通知される法定内、法定外研修を始めとし、外部で開催される研修については、介護支援専門員各自が情報の収集と参加の検討を行い、日々の業務に支障が出ない範囲で、積極的に参加し、研修後の情報共有を行うものとする。	

5. その他の重要な取り組み

(1) 新型コロナウイルス感染症予防及び蔓延防止対策

地域の感染状況を把握し、状況に応じた感染予防対策を都度検討します。また、罹患を疑うご利用者が発生した場合に速やかに対応出来るよう物品の管理とシミュレーションを兼ねた勉強会を実施します。

(2) ハラスメント対策

内部研修でハラスメントに対する正しい認識を持つことにより、未然にハラスメントへの防止をするとともに、コミュニケーションの停滞を解消し、風通しの良い職場環境作りに努めます。

(3) 地域における公益的な活動

地域行事や学生ボランティアの受け入れを積極的に行うことで、地域交流の拠点となり、社会資源としての役割を果たし、地域に根差した施設運営に努めます。

また、低所得で生計が困難である方へ社会福祉法人等による生計困難者等に対する介護保険サービスに係る利用者負担額軽減制度等のような制度のご紹介を積極的に行い、利用に繋がりたいと思います。

事業所名 : 小規模多機能型居宅介護施設 芳苑

1. 理念・基本方針

運営理念	住み慣れた地域でゆつくりと、自分らしく生活を。
運営方針	<p>① 住み慣れた地域で、いつまでも安心した生活が継続できるように、ひとりひとりに合った支援、サービスの提供をさせていただきます。</p> <p>② ご利用者の「できること」を活かした、自分らしい、自立支援を含んだ支援を行います。</p> <p>③ ご利用者、ご家族、地域が求める情報発信を行い、誰でも、どんなことでも相談できる、介護に関するワンストップ窓口となる施設になるよう努めます。</p>

2. 重点目標

重点目標	ご利用者の生活を尊重し、地域と途切れない、安心した生活が送れるよう支援します。
年 度 目 標	
①	ご利用者の意向を確認、把握しながら、その時々で変化するニーズに合わせた柔軟なサービスを提供し、安心した暮らしにつながる支援を行います。
②	自立支援を踏まえた支援を行い、住み慣れた自宅、地域の中で生活が継続できるように、必要なサービスを提供し、変わらない暮らしができるよう支援を行います。
③	ご家族、地域の方々と連携しながら、ご利用者がこれまでと変わらない日常生活を送ることができるよう支援を行い、支えるサービス提供を行います。
中 長 期 目 標	
①	ご利用者が生活するうえで関わる様々な環境、資源との協力体制を整え、ご利用者を軸とした支えとなる体制を作ります。

重点目標	小規模多機能型居宅介護としての役割を遂行し、柔軟性や特色を活かした支援を行い、利用されるご利用者、ご家族の今の生活、今後の生活を支えます。
年 度 目 標	
①	登録者 29 名を常時継続し、ひとりひとりに合ったサービスを柔軟に組み合わせながら、その人らしい安心した生活を継続できるよう支えます。
②	生活状況や環境を把握しながら、ご利用者、ご家族の意向に沿った施設への入所につなげ、今後の生活への不安を取り除く先を見た支援を行います。
③	在宅生活で不安を感じている方々等へ、状態に応じた介護サービスの情報発信を行い、利用して頂くことで、安心した生活につなげ、在宅と施設をつなぐ役割を遂行します。
中 長 期 目 標	
①	小規模多機能型居宅介護の役割である介護サービスの入り口として、在宅と施設をつなぐ中間的な役割を担い、旧東予市内、周桑地方周辺で在宅サービス事業所としての窓口、拠点となり、在宅生活を支援します。

3. 行事計画

重点目標	地域の中で、開かれた身近な施設となり、多様な方々の交流の場、情報発信を行う拠点の場となります。
年 度 目 標	
①	継続して広報活動、訪問を行いながら、小規模多機能型居宅介護についての情報発信を行い、感染対策を行った上で、様々なボランティアの受入、地域行事への参加をし、協力し合える関係作りに努めます。
②	運営推進会議を活用した交流、地域の活動への参加を継続して行い、小規模多機能型居宅介護という施設、役割を知って頂き、気軽に介護相談ができる開かれた事業所となるように努めます。
③	本体・サテライトの合同行事や、苑で行うイベント等の情報を公共施設や地域の方々へ発信し、来苑された方々が楽しんで過ごすことができる場所、地域の中の相談窓口となるよう努めます。

中 長 期 目 標	
①	いつでも誰でも気軽に立ち寄ることができ、地域の中の「集まれる場所」になり、些細な事でも相談に来られる窓口になる体制、環境を整えます。

【行事予定】

月	行事名	内容	予算
4月	桜花見 牡丹花見	<ul style="list-style-type: none"> ・桜の名所（久妙寺）へ出かけます。 ・市民の森へ出かけます。 	500円 (ガソリン代)
5月	運営推進会議 藤見学 避難訓練（風水害）	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者、ご家族、地域の方々等と交え会議を行います。 ・丹原文化会館、喜多台公園に出かけます。 ・ご利用者、ご家族、地域等参加して頂き、職員と共に避難訓練を行います。 	500円 (ガソリン代)
6月	紫陽花ドライブ 避難訓練（火災）	<ul style="list-style-type: none"> ・西山興隆寺に出かけます。 ・ご利用者、ご家族、地域等参加して頂き、職員と共に避難訓練を行います。 	500円 (ガソリン代)
7月	運営推進会議 七夕 避難訓練（地震）	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者、ご家族、地域の方々等と交え会議を行います。 ・七夕飾りを作成し苑内に飾ります。 ・ご利用者、ご家族、地域等参加して頂き、職員と共に避難訓練を行います。 	3,000円 (七夕準備代)
8月	夏祭り（サテライト合同）	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者、ご家族、地域の方々を呼び、苑内で夏祭りを行います。 	5,000円 (夏祭り準備代)

月	行事名	内容	予算
9月	運営推進会議 敬老会（サテライト合同） 避難訓練（防犯）	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者、ご家族、地域の方々等を交え会議を行います。 ・ご利用者、ご家族、地域の方々等参加していただき、敬老会を行います。 ・ご利用者、ご家族、地域等参加して頂き、職員と共に避難訓練を行います。 	5,000円 （敬老会準備代）
10月	運動会 神輿、獅子舞見学	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の保育園、小学校の運動会の見学に行かせて頂きます。 ・ご家族や地域の方々にも参加して頂き、苑の運動会を行います。 ・神輿、子供御輿、獅子舞見学を行います。 	3,000円 （運動会準備物代） 10,000円 （お花代）
11月	運営推進会議 文化祭 紅葉ドライブ 避難訓練（火災）	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者、ご家族、地域の方々等を交え会議を行います。 ・ご家族や地域の方々にも参加して頂き、文化祭を開催します ・桜三里へのドライブに出かけます。 ・ご利用者、ご家族、地域等参加して頂き、職員と共に避難訓練を行います。 	3,000円 （展示物作成代） 1,000円 （ガソリン代）
12月	クリスマス会（サテライト合同） 餅つき・正月飾り作り	<ul style="list-style-type: none"> ・苑内にてご利用者、職員、ボランティア等による特技や演奏等を披露します。 ・餅つきを行い正月の準備を行います。 ・藁草履等手作りでの正月飾りを作成します。 	7,000円 （クリスマス会準備代） 5,000円 （飾り作成代、餅つき材料代）

月	行事名	内容	予算
1月	運営推進会議 初詣	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者、ご家族、地域の方々等と交え会議を行います。 ・近くの神社へ初詣に出かけます。 	150円 (賽銭5円ずつ×30名分)
2月	節分 梅花見	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者と一緒に豆まきをして楽しみます。 ・綱敷天満宮へ出かけます。 	300円 (豆代) 500円 (ガソリン代)
3月	運営推進会議 ひな祭り	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者、ご家族、地域の方々等と交え会議を行います。 ・季節感を味わって頂く為、苑内にてひな祭りを行います。 	2,000円 (ひな祭り準備代)
随時	誕生日会	誕生日のお祝いをします。	150円 (色紙作成代)
随時	他事業所との交流会	法人内事業所とご利用者との交流	0円
随時	ボランティア	地域の方による慰問の受け入れを行います。	3,000円

4. 研修計画

重点目標	法令を基に、運営を行う上で必要な、基礎的知識や技術を身につけるとともに、キャリアアップを目指します。また、臨機応変な対応が出来るよう、職員ひとりひとりの技術向上に努めます。
年 度 目 標	
①	根拠に則った基礎知識、技術の習得を行い、観察視点の把握、対応方法の理解、早期対応が行える体制づくりに努めます。
②	資格情報を発信し、資格取得に向けた研修を実施し、各専門職の知識、考え方の幅を広げ、コミュニケーション能力向上を視野に入れたスキルアップにつながる体制を整えます。

③	外部研修への参加を行い、介護に関する様々な最新情報を把握し、習得した知識、技術を職員全体で共有しながらサービスの質の向上に努めます。
中 長 期 目 標	
①	誰でも楽しんで働くことができる環境、体制作りに努め、福祉に関わる資格取得を促し、専門性を高めます。各専門職ともに法令を基にした基礎的知識を得、人材の育成を目指します。

【研修計画】

月	項目	内容	参加者
4月	接遇に関する研修 倫理及び法令遵守に関する研修	法令遵守とは何か知り、法律、規則に定められていることを守らないとどういったことになるのか知り、介護保険法に関する業務で法律違反が発生しないように必要性を学び法律、規則を守る。	全職員
5月	感染症・食中毒の予防及び蔓延防止に関する研修 BCPに関する研修(感染症)	感染症・食中毒予防の蔓延防止する為の必要な知識を理解し、専門職として対応する個々の役割を把握し、緊急時において対応できるようにする。感染症が発生した場合のBCPとは何か理解し、施設内での自身の役割の把握、事業継続における知識を得る。	全職員
	身体拘束の排除の為の取組に関する研修	身体拘束の定義について学び、具体的な事例を提示し、もたらす弊害を理解し、職員一人一人が正しい身体拘束に対しての知識を得る。	

月	項目	内容	参加者
6月	BCPに関する研修(自然災害)	災害時のBCPとは何か理解し、施設内での自身の役割を把握し遂行し事業継続につながる知識を得る。又、事前に必要なもの(物資や物品、関係書類等)を知り、事業を継続する為に必要な動きを確認する。	全職員
	高齢者虐待防止関連法を含む虐待防止に関する研修	高齢者虐待防止法を学び、定義に照らし合わせながら、発生要因、未然防止に関する基本的なことを学ぶとともに、発生した際の義務について把握し、不適切なケアと思われるものについて検討する。	全職員
7月	事故発生又は再発防止に関する研修	事故が発生した際の初期対応から(対象者の対応、関係機関への連絡、ご家族への連絡、細かい記録等)学ぶ。又、具体的な事故の事例を提示し、原因分析等の未然防止策(福祉用具の活用等)、再発防止策等の検討を行い、同じ事故を繰り返さない。又、ヒヤリハットの重要性について学ぶ。	全職員
8月	高齢者虐待防止関連法を含む虐待防止に関する研修	高齢者虐待防止法を学び、定義に照らし合わせながら、発生要因、未然防止に関する基本的なことを学ぶとともに、発生した際の義務について把握し、不適切なケアと思われるものについて検討する。	全職員

月	項目	内容	参加者
8月	プライバシーの保護の取組に関する研修	個人情報に対しての認識を深く持ち、管理・対策を理解するとともに、漏洩につながる行動を知り、漏洩した際何が起こるのリスクを知った上で、個人情報を取り扱う責任の重さを自覚する。	全職員
9月	緊急時の対応に関する研修	状態変化による急変時の対応（介護は報告すべき項目、最低限しなければいけないこと、看護は指示を出し確認してもらう項目、どんな対応をするか、）を把握し、緊急時に素早い対応ができるよう学ぶ。又、既往歴や疾患から把握できる異常な状態の理解をし、日頃からご利用者の観察すべき点を理解し実践する。	全職員
10月	ハラスメントに関する研修	ハラスメントと言われるものが多数存在していることを理解し、ハラスメントが与える影響、何が当てはまるのか等詳しく学び、ハラスメントのない職場作りには何が必要なのか考え、良好なコミュニケーションを図る。	全職員
	BCPに関する研修(自然災害)	前回学んだことを元に、自然災害発生を想定したシュミレーションを行い、物資や物品を実際使用し、訓練を通じて振り返りを行い、改善個所を把握し改善する。	全職員

月	項目	内容	参加者
11月	感染症・食中毒の予防及び蔓延防止に関する研修 BCPに関する研修(感染症)	前回学んだことを基に、シュミレーション(予防、発生、対応)を行い、職員一人一人が適切な対応ができるか、又、この期間を振り返り適切な予防ができていたか検討し、問題を解決する。 。前回学んだことを元に、感染症発生想定したシュミレーションを行い、対応や、物資や物品を実際使用し、訓練を通じて振り返りを行い、改善個所を把握し改善する。	全職員
	身体拘束の排除の為の取組に関する研修	前回学んだことを基に、不適切なケアにつながる恐れがある場面を振り返り、シュミレーションを通じて対応方法を考え、実践する。	全職員
12月	認知症及び認知症ケアに関する研修	認知症の発症から経過の過程を学び、過程ごとにある症状、症状に対しての基本的な対応を把握、又、個々に応じて異なる症状の対応方法を具体例を提示し学ぶ。	全職員
	口腔ケアに関する研修	口腔ケアについての知識を学び、口腔ケアの基本技術を理解し、個々に応じた口腔ケアにつなげ、異常の発見につながる視点を得る。	全職員
1月	認知症及び認知症ケアに関する研修	認知症の発症から経過の過程を学び、過程ごとにある症状、症状に対しての基本的な対応を把握、又、個々に応じて異なる症状の対応方法を具体例を提示し学ぶ。	全職員

月	項目	内容	参加者
2月	防犯に関する研修	防犯に関する設備、防犯資材、点検項目を把握し、緊急時通報、訪問者対応等のシュミレーション(合言葉、通報の仕方等)を行い、誰でも統一した対応ができるようになる。又、自施設での死角になる部分の見直しを行い対応策を検討する。	全職員
3月	介護技術に関する研修	軽度から重度までの様々な状態のご利用者に対して、適切に対応できるよう、根拠に基づいた介護の基本を学び、シュミレーションを通して根拠のある介護を行う。	全職員
随時	外国人技能実習生について	外国人技能実習生を受入後の関わり方や必要な支援について学び、技能実習生が働きやすい環境を作る。 (介護指導、生活指導等)	全職員
随時	在宅生活における支援について	地域の中での小規模多機能型居宅介護の役割を理解し、ご利用者の支援に努める。	全職員
随時	介護保険改定について	介護保険改定について学び、必要な情報の共有を行い、職員一人一人が意識した業務を行えるよう努める。	全職員
随時	栄養について	栄養について確認すべき基本的な項目について学ぶ。	全職員
随時	コミュニケーションについて	ご利用者だけでなく、ご家族や地域の方々とも接する機会がある為、コミュニケーションについて学ぶ。	全職員
随時	運転について	交通ルール等を学び、安全運転を心掛ける	全職員

【外部研修】

- ・愛媛県在宅介護研修
- ・介護福祉士実務者研修
- ・認知症実践者研修
- ・初任者研修

5、その他の重要な取り組み

(1) 新型コロナウイルス感染症予防及びまん延防止対策

- ・消毒、マスク使用、換気、検温等、基本的な感染症対策を継続して行い、ご利用者、職員の健康管理を徹底し、感染者や濃厚接触者が発生した場合の対応方法のシュミレーションを行う

(2) ハラスメント対策

- ・ハラスメントに関する事例をあげていくことで、どのようなものがハラスメントにあたるか、ハラスメントの被害にあった場合の対応方法等周知し、対策を行う

(3) 地域における公益的な活動

- ・芳苑カフェを実施します。認知症の方々やそのご家族だけでなく、地域の方や独居の方等、誰でも気軽に参加することができ、参加者同士で会話することで、当事者やそのご家族が孤立しないように努めます。また地域の方々への認知症や介護に対する理解を深めて頂くことで、住み慣れた地域で安心して生活することができる地域づくり、共生社会の実現に取り組んでいきます。

(4) 介護職員処遇改善加算への取り組み

- ・コミュニケーションの円滑化を図り、職員一人一人が働きやすく、相談や話のしやすい雰囲気を作り、モチベーションを上げ、働きがいのある職場環境を目指します。また定期的な面談を行いながら、個々の能力に応じた資格や研修情報や福利厚生等の活用について詳しく伝え、職員全体の知識、技術の向上に努めます。

事業所名 : 小規模多機能型居宅介護施設 芳苑 (サテライト)

1. 理念・基本方針

運営理念	住み慣れた地域でゆっくりと、自分らしく生活を。
運営方針	<p>① 「安心・安全」を最優先にしながら、ご利用者の想いに寄り添った、親切で丁寧な優しい介護を目指します。</p> <p>② 地域の中での交流拠点となり、在宅生活を送られている高齢者がいつでも気軽に利用、相談できる開かれた施設作りを目指します。</p> <p>③ ご利用者、ご家族、職員、地域住民等かかわるすべての人にとって安心が溢れ、常に新たな創意工夫をし、在宅生活を支援する形にとらわれない今までにない施設を目指します。</p>

2. 重点目標

重点目標	住み慣れた地域で、生き生きと自分らしく在宅生活が継続できるよう寄り添った支援を行います。
年 度 目 標	
①	ご利用者一人一人の生活状況を常に把握し、「今の生活」に合った柔軟な支援に努めます。
②	在宅生活上でのニーズや不安等を知り、生活援助を含んだサービスを提供し、安心した在宅生活を送れるよう支援します。
③	ご自宅での生活を見据えた自立支援を行い、ご利用者が安心して、可能な限り在宅生活を継続できるよう努めます。
中 長 期 目 標	
①	ご家族、地域、地域資源等と連携し、ご利用者を軸とした取り巻く環境を柔軟に整えつつ、ご利用者が安心した生活を送ることができるよう、支えとなる体制を作ります。

重点目標	小規模多機能型居宅介護としての役割を遂行し、柔軟性や特色を活かした支援を行い、利用されるご利用者、ご家族の生活を支援します。
年 度 目 標	
①	登録者 18 名を継続し、サービス内容を充実させ、組み合わせながら、その人らしい日常生活の継続できるよう支援します。
②	心身の状態、生活状態に合わせたサービスの提供、在宅から施設への不安のない入所を踏まえた関りを持ち、先を見た支援を行います。
③	ご利用者が在宅生活を行う上でニーズを収集し、必要な支援について検討しながら、新しいサービスの創設を積極的に行い、途切れない支援に努めます。
中 長 期 目 標	
①	小規模多機能型居宅介護の役割である介護サービスの入り口として、在宅と施設をつなぐ中間的な役割を担い、旧東予市内、周桑地方周辺で在宅サービス事業所としての窓口、拠点となり、在宅生活を支援します。

3. 行事計画

重点目標	地域の中で、開かれた身近な施設となり、多様な方々の交流の場、情報発信を行う拠点の場となります。
年 度 目 標	
①	継続して広報活動、訪問を行いながら、小規模多機能型居宅介護についての情報発信を行い、感染対策を行った上で、様々なボランティアの受入、地域行事への参加をし、協力し合える関係作りに努めます。
②	運営推進会議を活用した交流、地域の活動への参加を行い、ご利用者、ご家族、地域との信頼関係を大切にし、気軽に立ち寄ることができる関係作りに努めます。
③	本体・サテライトの合同行事や、苑で行うイベント等の情報を公共施設や地域の方々へ発信し、来苑された方々が楽しんで過ごすことができる場所、地域の中の相談窓口となるよう努めます。
中 長 期 目 標	
①	いつでも誰でも気軽に立ち寄ることができ、地域の中の「集まれる場所」になり、些細な事でも相談に来られる窓口になる体制、環境を整えます。

【行事予定】

月	行事名	内容	予算
4月	桜花見 園芸活動	・久妙寺へ出かけます。 ・鉢植え等に花を植え、園芸活動を行って頂きます。	500円 (ガソリン代) 1,000円 (花、土代)
5月	運営推進会議 鯉のぼり見学ドライブ 避難訓練(風水害)	・ご利用者、ご家族、地域の方々等を交え会議を行います。 ・今治市民の森へでかけます ・ご利用者、ご家族、地域等参加して頂き、職員と共に避難訓練を行います。	500円 (ガソリン代)
6月	休暇村ドライブ 避難訓練(火災)	・休暇村に出かけ、喫茶店をご利用者同士ゆっくりと過ごして頂きます。 ・ご利用者、ご家族、地域等参加して頂き、職員と共に避難訓練を行います。	各自 500円 (お茶代) 500円 (ガソリン代)
7月	運営推進会議 七夕 避難訓練(地震)	・ご利用者、ご家族、地域の方々等を交え会議を行います。 ・七夕飾りを作成し苑内に飾ります。 ・ご利用者、ご家族、地域等参加して頂き、職員と共に避難訓練を行います。	3,000円 (七夕準備代)
8月	夏祭り(本体合同)	・ご利用者、ご家族、地域の方々を呼び、苑内で夏祭りを行います。	5,000円 (夏祭り準備代)
9月	運営推進会議 敬老会(本体合同) 避難訓練(防犯)	・ご利用者、ご家族、地域の方々等を交え会議を行います。 ・ご利用者、ご家族、地域の方々等参加していただき、敬老会を行います。 ・ご利用者、ご家族、地域等参加して頂き、職員と共に避難訓練を行います。	5,000円 (敬老会準備代)

月	行事名	内容	予算
10月	運動会	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の保育園、小学校の運動会の見学に行かせて頂きます。 ・ご家族や地域の方々にも参加して頂き、苑の運動会を行います。 ・地域の秋祭りに参加します 	3,000円 (運動会準備物代)
	秋祭り		10,000円 (お花代)
	ハロウィンパーティー	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な衣装を着て、ハロウィンパーティーを開催します。 	3,000円 (準備物代)
11月	運営推進会議	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者、ご家族、地域の方々等を交え会議を行います。 	1,000円 (ガソリン代)
	紅葉ドライブ	<ul style="list-style-type: none"> ・西山興隆寺へドライブに出かけます。 	1,000円 (ガソリン代)
	買い物ツアー	<ul style="list-style-type: none"> ・いつもの生活圏内とは異なる店に行き買い物を楽しんで頂きます。 ・ご利用者、ご家族、地域等参加して頂き、職員と共に避難訓練を行います。 	1,000円 (ガソリン代)
	避難訓練(火災)		
12月	クリスマス会 (本体合同)	<ul style="list-style-type: none"> ・苑内にてご利用者、職員、ボランティア等による特技や演奏等を披露します。 	7,000円 (クリスマス会準備代)
	冬至	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆずを浮かべた入浴を実施し、かぼちゃを使用したおやつイベントを行います 	1,500円 (準備代)
	紅白歌合戦	<ul style="list-style-type: none"> ・紅白に分れてカラオケ大会を開催します 	

月	行事名	内容	予算
1月	運営推進会議 初詣・新年会	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者、ご家族、地域の方々等を交え会議を行います。 ・近くの神社へ初詣に出かけます。 ・書初めやかると等お正月らしい昔ながらの遊びを取り入れたイベントを行います 	900円 (賽銭5円ずつ×18名分)
2月	節分 生け花教室	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者と一緒に豆まきをして楽しみます。 ・生け花の体験をして頂きます。 	300円 (豆代) 500円 (1人花代)
3月	運営推進会議 ひな祭り	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者、ご家族、地域の方々等を交え会議を行います。 ・季節感を味わって頂く為、苑内にてひな祭りを行います。 	2,000円 (ひな祭り準備代)
随時	誕生日会	誕生日のお祝いをします。	150円 (色紙作成代)
随時	他事業所との交流会	法人内事業所とご利用者との交流	0円
随時	ボランティア	地域の方による慰問の受け入れを行います。	3,000円

4. 研修計画

重点目標	法令を基に、運営を行う上で必要な、基礎的知識を身に着けるとともに、キャリアアップを目指します。臨機応変な対応が出来るよう、職員ひとりひとりの技術向上に努めます。
年 度 目 標	
①	根拠に則った基礎知識、技術の習得を行い、観察視点の把握、対応方法の理解、早期対応が行える体制作りに努めます。
②	資格情報を発信し、資格取得に向けた研修を実施し、各専門職の知識、考え方の幅を広げ、コミュニケーション能力向上を視野に入れたスキルアップにつながる体制を整えます。

③	外部研修への参加を行い、介護に関する様々な最新情報を把握し、習得した知識、技術を職員全体で共有しながらサービスの質の向上に努めます。
中 長 期 目 標	
①	誰でも楽しんで働くことができる環境、体制作りに努め、福祉に関わる資格取得を促し、専門性を高めます。各専門職ともに法令を基にした基礎的知識を得、人材の育成を目指します。

【研修計画】

月	項目	内容	参加者
4月	待遇に関する研修 倫理及び法令遵守に関する研修 家事援助に関する研修	法令遵守とは何か知り、法律、規則に定められていることを守らないとどういったことになるのか知り、介護保険法に関する業務で法律違反が発生しないように必要性を学び法律、規則を守る。 在宅生活における家事援助の重要性を学び、清掃、洗濯、調理などの基本的な知識、技術を学ぶ	全職員
5月	感染症・食中毒の予防及び蔓延防止に関する研修 BCPに関する研修(感染症) 訪問についての研修	感染症・食中毒予防の蔓延防止する為の必要な知識を理解し、専門職として対応する個々の役割を把握し、緊急時において対応できるようにする。 感染症が発生した場合のBCPとは何か理解し、施設内での自身の役割の把握、事業継続における知識を得る。 訪問時における観察視点や、住環境における注意事項等を学び、早期に問題点を把握する視点を持つ。	全職員

月	項目	内容	参加者
5月	身体拘束の排除の為の取組に関する研修	身体拘束の定義について学び、具体的な事例を提示し、もたらす弊害を理解し、職員一人一人が正しい身体拘束に対しての知識を得る。	全職員
6月	BCPに関する研修(自然災害)	災害時のBCPとは何か理解し、施設内での自身の役割を把握し遂行し事業継続につながる知識を得る。又、事前に必要なもの(物資や物品、関係書類等)を知り、事業を継続する為に必要な動きを確認する。	全職員
	高齢者虐待防止関連法を含む虐待防止に関する研修	高齢者虐待防止法を学び、定義に照らし合わせながら、発生要因、未然防止に関する基本的なことを学ぶとともに、発生した際の義務について把握し、不適切なケアと思われるものについて検討する。	全職員
7月	事故発生又は再発防止に関する研修	事故が発生した際の初期対応から(対象者の対応、関係機関への連絡、ご家族への連絡、細かい記録等)学ぶ。又、具体的な事故の事例を提示し、原因分析等の未然防止策(福祉用具の活用等)、再発防止策等の検討を行い、同じ事故を繰り返さない。又、ヒヤリハットの重要性について学ぶ。	全職員

月	項目	内容	参加者
8月	高齢者虐待防止関連法を含む虐待防止に関する研修	高齢者虐待防止法を学び、定義に照らし合わせながら、発生要因、未然防止に関する基本的なことを学ぶとともに、発生した際の義務について把握し、不適切なケアと思われるものについて検討する。	全職員
	プライバシーの保護の取組に関する研修	個人情報に対する認識を深く持ち、管理・対策を理解するとともに、漏洩につながる行動を知り、漏洩した際何が起こるのリスクを知った上で、個人情報を取り扱う責任の重さを自覚する。	全職員
9月	緊急時の対応に関する研修	状態変化による急変時の対応（介護は報告すべき項目、最低限しなければいけないこと、看護は指示を出し確認してもらう項目、どんな対応をするか、）を把握し、緊急時に素早い対応ができるよう学ぶ。又、既往歴や疾患から把握できる異常な状態の理解をし、日頃からご利用者の観察すべき点を理解し実践する。	全職員
	家事援助に関する研修	各地域ごとの生活していく上での必要なルール等を把握し、在宅生活の支援の充実につなげる。	

月	項目	内容	参加者
10月	ハラスメントに関する研修	ハラスメントと言われるものが多数存在していることを理解し、ハラスメントが与える影響、何が当てはまるのか等詳しく学び、ハラスメントのない職場作りには何が必要なのか考え、良好なコミュニケーションを図る。	全職員
	BCPに関する研修(自然災害)	前回学んだことを元に、自然災害発生を想定したシュミレーションを行い、物資や物品を実際使用し、訓練を通じて振り返りを行い、改善個所を把握し改善する。	
11月	感染症・食中毒の予防及び蔓延防止に関する研修 BCPに関する研修(感染症)	前回学んだことを基に、シュミレーション(予防、発生、対応)を行い、職員一人一人が適切な対応ができるか、又、この期間を振り返り適切な予防ができていたか検討し、問題を解決する。 前回学んだことを元に、感染症発生想定したシュミレーションを行い、対応や、物資や物品を実際使用し、訓練を通じて振り返りを行い、改善個所を把握し改善する。	全職員
	身体拘束の排除の為の取組に関する研修	前回学んだことを基に、不適切なケアにつながる恐れがある場面を振り返り、シュミレーションを通じて対応方法を考え、実践する。	

月	項目	内容	参加者
12月	認知症及び認知症ケアに関する研修	認知症の発症から経過の過程を学び、過程ごとにある症状、症状に対しての基本的な対応を把握、又、個々に応じて異なる症状の対応方法を具体例を提示し学ぶ。	全職員
	口腔ケアに関する研修	口腔ケアについての知識を学び、口腔ケアの基本技術を理解し、個々に応じた口腔ケアにつなげ、異常の発見につながる視点を得る。	全職員
1月	認知症及び認知症ケアに関する研修	認知症の発症から経過の過程を学び、過程ごとにある症状、症状に対しての基本的な対応を把握、又、個々に応じて異なる症状の対応方法を具体例を提示し学ぶ。	全職員
2月	防犯に関する研修	防犯に関する設備、防犯資材、点検項目を把握し、緊急時通報、訪問者対応等のシュミレーション(合言葉、通報の仕方等)を行い、誰でも統一した対応ができるようになる。又、自施設での死角になる部分の見直しを行い対応策を検討する。	全職員
3月	介護技術に関する研修	軽度から重度までの様々な状態のご利用者に対して、適切に対応できるよう、根拠に基づいた介護の基本を学び、シュミレーションを通して根拠のある介護を行う。	全職員

月	項目	内容	参加者
随時	外国人技能実習生について	外国人技能実習生を受入後の関わり方や必要な支援について学び、技能実習生が働きやすい環境を作る。 (介護指導、生活指導等)	全職員
随時	在宅生活における支援について	地域の中での小規模多機能型居宅介護の役割を理解し、ご利用者の支援に努める。	全職員
随時	介護保険改定について	介護保険改定について学び、必要な情報の共有を行い、職員一人一人が意識した業務を行えるよう努める。	全職員
随時	栄養について	栄養について確認すべき基本的な項目について学ぶ。	全職員

【外部研修】

- ・愛媛県在宅介護研修
- ・介護福祉士実務者研修
- ・認知症実践者研修
- ・初任者研修

5、その他の重要な取り組み

(1) 新型コロナウイルス感染症予防及びまん延防止対策

- ・消毒、マスク使用、換気、検温等、基本的な感染症対策を継続して行い、ご利用者、職員の健康管理を徹底し、感染者や濃厚接触者が発生した場合の対応方法のシュミレーションを行う。

(2) ハラスメント対策

- ・ハラスメントに関する実例をあげていくことで、どのようなものがハラスメントにあたるか、ハラスメントの被害にあった場合の対応方法等周知し、対策を行う。

(3) 地域における公益的な活動

・買い物ツアーを実施します。車がない、運転が不安、バス停まで遠い、バスの時間があまりない等、地域の中で、在宅生活をしている独居の方や高齢者の方は高齢者の方々の買い物は一苦勞だと思います。また、なかなか外にでる機会がない高齢者もおられます。自分で買い物に行き、選ぶということをするこ
とで日々の生活に少しでも活気が持てるように、買い物ツアーを実施したいと
考えます。

(4) 介護職員処遇改善加算への取り組み

・コミュニケーションの円滑化を図り、職員一人一人が働きやすく、相談や話
のしやすい雰囲気を作り、モチベーションを上げ、働きがいのある職場環境を
目指します。また定期的な面談を行いながら、個々の能力に応じた資格や研修
情報や福利厚生等の活用について詳しく伝え、職員全体の知識、技術の向上に
努めます。

事業所名 : グループホーム竹梅小路

理念・基本方針

運営理念	一人一人を大切に 和を大切に
運営方針	<p>① ご利用者お一人お一人の寄り添い、その人らしい過ごし方で、日々、笑顔で暮らせる支援をします。</p> <p>② 職員一人一人が竹梅小路というチームの一員であることを自覚し、和を大切にしお互いを尊重し、切磋琢磨することで職員の質の向上を目指します。</p> <p>③ 地域の方と積極的にかかわるように企画を計画し、竹梅小路からどんどん地域に出ていく施設を目指します。</p>

2. 重点目標

重点目標	ご利用者の方の持っている力を引き出し、一日一日を大切に過ごして頂けるよう支援し、ご家族にも安心して頂ける運営を行います。
年 度 目 標	
①	ご利用者、ご家族からこれまでの生活の様子や既往歴、ご意向を確認し、介護計画をしっかりと立て統一したケアを行います。
②	日々の暮らしの中で、ご利用者のできる事を見つけ、ご利用者と共に喜びご利用者の力になるよう支援します。
③	日々の暮らしの様子や行事の様子をご家族にお伝えし、家族と情報共有を行い、ご家族も一緒にご利用者の支援をして頂けるように努めます。
中 長 期 目 標	
①	ご利用者の喜怒哀楽を一緒に感じる事ができ、その人らしい生活を送って頂ける支援を行い、ご利用者・ご家族が入居して良かったと思っ頂けるように運営します。

重点目標	ご利用者の心身の状態を把握し、異常の早期発見を行います。ご利用者のQOLの維持に努めます。また、職員全体で稼働率の向上の意識を持ちます。
年 度 目 標	
①	日常生活動作や体操・歌・口腔ケア・レクリエーションを毎日行う事が残存機能低下防止であることを全職員が理解して、支援を行います。
②	事故を未然に防ぐ為にヒヤリハットを多く出し、検証を行い、施設全体で事故防止に努めます。
③	新規の申し込みのあった方には速やかに対応し、よりよい関係の構築ができるように丁寧で思いやりのある対応に心掛け、空床日数の削減に努めます。
中 長 期 目 標	
①	全職員が稼働率の必要性を理解し、管理者は外部への発信を、現場職員は、ご利用者の安全と安心を守り、同じ方向に向かった運営を行います。

3. 行事計画

重点目標	気軽に相談できる窓口になれるよう、地域の方との交流を持ち、ご利用者の方と一緒に、地域行事や外出を行います。また、認知症介護に携わる事業所として、地域に向けて情報発信や啓発活動に努めます。
年 度 目 標	
①	感染対策を実施しながら、運営推進会議や苑で行う防災訓練にご家族や地域の方に参加して頂きます。
②	地域で開催されている会議やイベントの情報収集を行い、参加していきます。
③	認知症介護に携わる事業所として、認知症ケアについて、地域の方やご家族に情報の発信を行います。
中 長 期 目 標	
①	災害や認知症ケアについてなど、地域の方と一緒に考え、対応できる施設を目指します。

【行事予定】

月	行事名	内容	予算
4月	お花見 手作りおやつ 運営推進会議	ドライブとおやつを兼ねて、お花見見学を楽しんで頂く。お菓子提供。 おやつ作りを職員と一緒にいき、楽しいひと時を過ごして頂く。 ご利用者、ご家族、地域の方に参加して頂き活動状況を報告、意見交換を行う。	2,000円 2,000円
5月	こどもの日 避難訓練（火災、風水害）	鯉のぼりや兜を作ったり、合同でレクリエーションを行い、利用者同士の交流を図ります。 防災訓練を行い、緊急時の対応を身に着ける。	1,000円
6月	あじさい見学 運営推進会議	ドライブを兼ねて、あじさい見学を楽しんで頂く。 ご利用者、ご家族、地域の方に参加して頂き活動状況を報告、意見交換を行う。	0円
7月	七夕祭り	短冊づくりや飾り付けを行い、季節の果物を頂く。	2,000円
8月	納涼祭 運営推進会議	駐車場にて西条市の花火大会を見学し、夕涼みを楽しむ。 ご利用者、ご家族、地域の方に参加して頂き活動状況を報告、意見交換を行う。	1,500円
9月	敬老会	ご家族の方と一緒に、長寿のお祝いを行う。	5,000円
10月	西条祭り見学 運動会 運営推進会議	苑から西条のお祭りを見学して頂く。 ご利用者と一緒に運動会を行います。 ご利用者、ご家族、地域の方に参加して頂き活動状況を報告、意見交換を行う。	0円 800円
11月	紅葉ドライブ 避難訓練（防災訓練）	ドライブを兼ねて、紅葉を楽しむ。 お菓子の提供。 ご利用者・地域の方と一緒に防災訓練を行います。	1,000円

月	行事名	内容	予算
12月	クリスマス会 運営推進会議	ご家族と一緒にクリスマス会を楽しんで頂く。 ご利用者、ご家族、地域の方に参加して頂き活動状況を報告、意見交換を行う。	5,500円
1月	初詣 手作りおやつ	施設近隣の神社にお参りし、新年のお祝いをする。 ぜんざい作りを行い、楽しいひと時を過ごして頂く。	0円 1,500円
2月	節分 運営推進会議	豆まきを行い、節分の雰囲気を楽しんで頂く。 ご利用者、ご家族、地域の方に参加して頂き活動状況を報告、意見交換を行う。	1,000円
3月	ひな祭り	皆でひな祭りをお祝いし、季節感を味わって頂く。	1,000円

*お誕生日の方がいらっしゃる月については、お誕生日会を行います。

*随時、西条市図書館、福祉センター、子供の国の利用、社会資源の活用を行います。

4. 研修計画

重点目標	介護・医療・認知症のケアの専門的な知識や技術を身につけ、職員のスキルアップに努めていきます。また、外部研修に参加する機会を持ちます。
年 度 目 標	
①	外部研修に参加し、知り得た情報を他の職員に伝え、情報共有を図れるように努めていきます。
②	内部研修では、参加者職員から発言がみられる研修会にします。認知症の方に対して対応はどのような事が大切かを常に考える研修会を行います。
③	介護福祉士や介護支援専門員など、資格取得を推進していきます。
中 長 期 目 標	
①	職員全てが認知症ケアにおける専門的な知識を持ち、施設内、施設外で情報提供できるようになります。

【研修計画】

月	項目	内容	担当者
4月	事故防止について 身体拘束について	介護事故防止策について考える。 身体拘束での事故の事例について学ぶ。	全職員
5月	ハラスメントについて	介護現場におけるハラスメントについて。ハラスメントの種類や内容、実際にあった事例で対策方法を学ぶ	全職員
6月	感染症対策について	介護現場の感染症リスクマネジメントについて。夏期に流行する感染症と対策予防や手洗い、ガウンテクニックについて学ぶ。	全職員
7月	介護での法的遵守についての理解	介護事業所のコンプライアンスとは。倫理や法令を理解する。	全職員
8月	防災について（BCP） 防犯について	西条市で大規模な風水害が発生した場合について考える。 防犯にかかる安全確保について理解する。	全職員
9月	介護技術について 虐待について	介護技術の必要性について学ぶ 高齢者虐待の事例から、虐待をしてはいけないのは何故かを考える。	全職員
10月	余暇活動について 重度化の指針について	高齢者の運動の必要性について、学び実践する。 重度化の指針について理解する。	全職員
11月	高齢者の食と栄養について 口腔ケアについて	低栄養状態や食事で気をつけるポイントについて理解する。 口腔ケアの必要性について理解する。	全職員
12月	感染症対策 感染症 BCP について	感染症BCPの内容を理解する。手洗いやガウンテクニックの実践を行う	全職員
1月	介護現場での接遇マナー 高齢者虐待について	介護職員の接遇マナーとは。言葉遣いについて考える。 スピーチロックについて学ぶ	全職員

月	項目	内容	担当者
2月	身体拘束について 事故防止について	身体拘束は何故いけないのかを考える。 ヒヤリハットの大切さを理解し、事故防止につながる事を学ぶ	全職員
3月	防災について 防災BCP	防災BCPについて実際の行動を行う。	全職員

* 認知症高齢者の方を対象にどのように対応するかを考えて、研修を実施する。

5. その他の重要な取り組み

(1) 新型コロナウイルス感染症予防及びまん延防止対策

新型コロナウイルス感染症予防及びまん延防止対策の為、1ケア1手洗い定期的な換気、苑内の掃除や消毒等施設内の衛生保持に努めます。日頃より職員・ご利用者の体温・体調管理を行います。「持ち込ませない」「拡げない」対策作りを行います。定期的な研修を実施や備蓄の確認・確保を行い、感染症発生時に備えていきます。

(2) ハラスメント対策

研修会や勉強会に参加し、ハラスメントの種類や内容を職員全員で理解し、職員間でお互いを認め合う関係性作りに励みます。また、近年増加しているカスタマーハラスメントに対しても知識を身に付け、ご利用者、ご家族並びに取引先の方とも信頼しあえる関係作りを行います。

(3) 地域における公益的な活動

認知症介護を携わる事業所として、認知症についてご家族、地域の方へ発信を行います。また、地域の方と防災訓練等に参加し、地域福祉の拠点として活動を行います。

(4) 介護職員等処遇改善加算への取り組み

仕事と生活が両立できて、職員が働きやすい環境作りを行います。ストレス、悩み、不安からくる小さな変化に気づける職員関係、休暇が取りやすい環境作り、働きながら資格取得が出来る環境づくりを行います。職員のスキルアップにつながる研修も行います。

事業所名 : さくら保育園

1. 理念・基本方針

運営理念	安心・安全を念頭に、保護者の成長を願う気持ちに寄り添いながら、子どもの心身共に健全な成長を助け、保育を行います。
運営方針	<p>① 子どもの気持ちを大切にし、保護者が安心して子どもを預けることができる保育士を目指します。</p> <p>② 子どもの「気づき」「やる気」を大切に見守り、必要な時は個々に応じた手助けをします。</p> <p>③ 一人ひとりの個性、発達段階を的確にとらえ関わります。</p> <p>④ 保育士は、子ども、その保護者、介護施設入所者様との交流を通じて、子どもの成長を共に願えるようにします。</p>

2. 重点目標

重点目標	子ども・保護者との信頼関係を築き、それを基に安定した生活を送り、心身の健全な発達を目指します。
年 度 目 標	
①	子ども各個人の発達段階を捉え、それぞれに合った援助を行います。生理的欲求・依存欲求を満たし、保育士との信頼関係を築き安定した生活を送れるようにします。
②	子どもとの、受容的・応答的な関わりの中で、伝えようとする意欲や身近な大人との信頼関係を育て、人と関わる力の基礎を培います。
③	保護者とは、毎日の送迎の時や連絡帳等を通じ、子どもの健康状態や気になるところ等を共有し、一緒に子育てをしましょうという姿勢で、信頼関係を作ります。
中 長 期 目 標	
①	子どもと、暖かい雰囲気の中でゆったりと関わりながら、安心して楽しく過ごせるようにします。

重点目標	健康で安全な園生活を過ごせるようにします。
年 度 目 標	
①	子どもの体調変化や情緒を把握するために、家庭との連携を密に行います。また、園での様子等を知らせたり、出来るようになったことを伝えたりして、子どもの成長を共有します。
②	感染症ガイドラインに沿った、感染症対策を行い衛生的な環境で過ごせるようにします。また、重大事故を防ぐため、SIDS（乳幼児突然死症候群）チェックシートや、園内設備等チェックリストを活用するなどして、安全確保に努めます。
③	外遊びや散歩等、戸外での活動を多く持てるようにし、季節の変化を感じたり、体を動かすことで心身の発達を促したりします。戸外での活動ができない時は、体操やリトミック、サーキット遊び等を取り入れます。
中 長 期 目 標	
①	毎日、楽しい園生活を過ごせるよう環境を整え、健康に過ごせるようにします。

3. 行事計画

重点目標	子どもが季節の変化を感じながら、伝統的な文化に触れることができるようにします。
年 度 目 標	
①	毎月行う身体測定では、大きくなったことを知り、成長を共に喜べるようにします。
②	避難訓練を繰り返し行うことで、いかなる状況でも保育士の指示を聞き、安全に避難できるようにします。
③	季節ごとの行事を行うことで、季節の移り変わりを感じたり、子ども達が楽しめたりするようにします。
中 長 期 目 標	
①	行事を通して、子ども達の豊かな感性や情緒を育むことができるようにします。

【行事予定】

月	行事名	内容	予算
5月	子どもの日	子どもの日に関する製作をしたり、絵本等を見たりすることで、子どもの日が自分たちの成長を願う日であることを知る	100円
	ファミリーデー	家族にプレゼントを製作し、感謝を伝えることで、誰かの為に何かしてあげたいという気落ちを育てる	200円
7月	七夕	笹飾りを作り、七夕の雰囲気を味わう	500円
10月	ハロウィン	仮装等身に着ける物を製作したり、亀天荘事務所を訪問したりしてハロウィンの雰囲気を味わう	1,000円
11月	七五三	神社へのお参りに行き、成長を喜びながら、伝統行事を楽しむ	50円
12月	クリスマス会	ツリーを飾ったり、職員の出し物を見たりして楽しく過ごす	1,000円
1月	初詣	神社にお参りに行き、初詣の意味を簡単に理解する	50円
2月	節分	鬼のお面の製作や豆まきをすることで、伝統行事を楽しむ	200円
3月	ひな祭り	雛人形を見たり、製作等をしたりすることで、ひな祭りに親しみ伝統行事を味わう	100円
	お別れ会	職員の出し物を見たり、一緒にゲーム等をしたりして、退所するお友達と楽しく過ごす	無料

※毎月、身体測定・避難訓練を行います。

※誕生日の園児がいる月には誕生日会を行います。

※ケアハウスのご利用者との交流を、月に一度予定しています。

※保育参観を、年に2回実施の予定です。

4. 研修計画

重点目標	保育の勉強を積極的に行い、知識や技術の向上に努めます。また、保育士間で情報交換を行い共に保育力を高めます。
年 度 目 標	
①	子ども家庭庁の設置や子どもを取り巻く社会情勢の変化等を的確に捉え、新たな施策、法令を理解し日々の保育にあたります。
②	外部研修に参加したり、園内研修を定期的に行ったりすることで、子どもに対するより良い援助や環境構成、保護者支援の知識や技術の向上に努めます。
中 長 期 目 標	
①	保育の知識、技術向上に努め、子ども・保護者が安心して預けることができるような職員を目指します。

【研修計画】

月	項目	内容	参加者
4月	理念・保育方針・運営方針について	理念・保育、運営方針・を理解し、全職員が共有する	全職員
	企業主導型保育園とは	自分たちが勤めている企業主導型保育園の特徴と運営において職員が理解すること	
	危機管理対策について	火災・地震・風水害等の対応方法を知り、役割分担をする	
	業務継続計画（BCP）について	業務継続計画（BCP）の理解と業務継続に必要な事、物、役割を話し合う	
	書類（月案、週案、連絡帳等）について	各書類を作成する時に配慮すること等を話し合い、共有する	
5月	個人情報の取り扱いについて	個人情報の扱いに注意することの理解	全職員
	苦情対応について	保護者、関係者等の苦情対応の流れの理解と対応	
	虐待防止について	園児に対する虐待が疑われた時の対応	
	保育園における接遇とは	保育現場で求められている接遇とは何かを知り、理解する	

月	項目	内容	参加者
5月	保育の基本的な法令について	基本的な法令を見直し、再認識する	全職員
6月	事故防止・事故発生時について	事故防止（ヒヤリハット含む）の為にできることの検討、事故発生時の対応	全職員
	夏の感染症対策について	夏季の主な感染症を理解し、適切な対応を学ぶ	
	水遊び・戸外遊びについて	水遊び（プール遊び）を安全に楽しむために注意すべきことの理解・戸外遊びの見直し	
7月	子どもの救急対応について	子どもの緊急時の適切な対応の仕方を学ぶ	全職員
	法令の遵守について	新たな法令や施策を理解し、遵守しなければならないことを知る	
	保育所保育指針①	保育所保育指針の重要部分の見直し	
8月	子どもの成長と変化	楽しく活動している子どもの写真を用意し、そこから読み取れるものを話し合う	全職員
	保育所保育指針②	保育所保育指針の重要部分の見直し	
9月	保護者支援について	保護者支援の必要性と具体的な支援の方法	全職員
	ハラスメントについて	ハラスメントの正しい知識を知り、具体的な事例を交えながら保育士の個々の意識を上げる	
10月	食育について	食育について理解を深め、実践に活かす	全職員
	保育所保育指針③	保育所保育指針の重要部分の見直し	
11月	冬の感染症対策について	冬季の感染症について基本を知り、適切な対応を学ぶ	全職員
	労働法について	働くものとして基本的な労働法制を知る	

月	項目	内容	参加者
12月	事例の検討①	具体的な事例を用い、気づいたことなどを話し合う（自分の言葉で伝える）	全職員
1月	事例の検討②	具体的な事例を用い、気づいたことなどを話し合い、自身を振り返る	全職員
2月	環境構成について	遊びの発展のある環境構成とはどのようなものか話し合う	全職員
	教育課程・指導計画の見直し	一年間を振り返り、課程・指導計画を見直し、次年度につなげる	
3月	今年度の自己評価と次年度の目標	一年間の各自の保育を振り返り、課題を見つけ、次年度の目標を設定する。子どもを尊重する保育ができているかセルフチェックを行う	全職員
	次年度の教育課程・指導計画・役割分担について	職員間で次年度の計画等を共通理解する。又、保育の進め方、役割分担について話し合う	

- ・保育安全研修
- ・施設長研修
- ・キャリアアップ研修

5.その他の重要な取り組み

(1) 新型コロナウイルス感染症予防及びまん延防止対策

職員は手洗い・手指消毒を適切に行い、衛生的な室内環境を保ちつつ常時換気を行います。そして、子どもが手に触れる所、玩具等の消毒もこまめに行うことで、保育所の果たす社会的機能を維持できるようにします。

(2) ハラスメント対策

ハラスメント対策マニュアルを作成し、それを基に園内研修を行い、職員全員がハラスメントを理解し、ハラスメントのない働きやすい職場環境を目指します。

(3) 地域における公益的な活動

地域には、保育を必要としているのに、受け入れ先が見つからず、親の子育てに対する不安感を高め、就労を希望していても困難な状況に置かれている方々があります。そういった方々を受け入れ保育の場を提供させていただきます。

(4) 保育士等処遇改善加算への取り組み

キャリアアップ研修や勉強会等を通して、保育の質の向上を目指しながら、保育士の定着率の上昇に繋がるようにします。

事業所名 : 亀天会診療所

1. 理念・基本方針

運営理念	患者が安心して安全な医療を受けられる環境を整え、良質な医療を提供することを通じて、地域医療の充実を目指します。
運営方針	<p>① 地域で生活しておられる方々に貢献していくことを念頭に、提携医療機関や地域の医療機関への速やかな連携を目指します。</p> <p>② 高齢や認知症等により病院受診が困難である地域の方々や施設ご利用者に対応するため、訪問診療による診療体制を強化し、地域社会の一員として良質な環境作りを目指します。</p>

2. 重点目標

重点目標	地域の中核病院等と連携を密に図りながら、長期の治療に対しても求められる主治医機能を十分に果たしていけるよう努めます。
年 度 目 標	
①	提携医療機関や地域の医療機関との迅速かつ円滑な連携を目指し、地域医療の向上に努めます。
②	患者、ご家族が安心して満足できるよう、要望を常に把握することに努めます。また、意思を尊重し、要望に基づいた医療の提供を目指します。
③	患者の権利や尊厳を守り、病状・治療・投薬の内容等についての説明と同意に基づいた、すべての患者様が納得できるような心のこもった医療の提供を目指します。
中 長 期 目 標	
①	常に患者に寄り添い、また、ご家族の願いやお気持ちにも寄り添う診療を目指します。診療所ならではの、親切さ、暖かさを常に意識し、分かりやすい言葉で説明することを心がけます。

重点目標	定期的な訪問診療や往診により、高齢者の皆様の健康状態を把握し最善の医療を提供していきます。
年 度 目 標	
①	定期的な健康診断や、インフルエンザ・肺炎球菌・新型コロナウイルスワクチン予防接種等の予防医療にも積極的に取り組みます。
②	患者の症状により、可能であれば後発医薬品に変更するなど、お薬代の負担軽減を図ります。また、感染症等において、公費適用項目を都度確認し、検査や新薬の処方等に速やかに対応できるよう努めます。現在、多く発生している供給困難な薬剤の情報にも気を配り、最適に提供できるよう努めます。
③	施設ご利用者の症状、及び健康状態については、各施設担当者との連絡調整を十分に行うことにより、健康状態の把握に努めます。また、処方や治療変更時には、施設担当者への伝達を速やかに行うよう努めます。
中 長 期 目 標	
①	お薬代・医療費・公費サービス等について、分かりやすい言葉で理解と納得が得られるまで説明するとともに、患者、またご家族と信頼関係を構築できる対応を目指します。

3. 行事計画

重点目標	地域で生活しておられる方々や施設で生活しておられる方々の予防医療に努めていきます。
年 度 目 標	
①	定期的に健康診断を行います。個人の信条、価値観に十分配慮し、地域の方々の健康管理に携わっていただけるよう努めます。
②	積極的に予防接種を行います。インフルエンザワクチンについては、希望者全てに接種できるよう、薬剤確保に尽力します。新型コロナウイルスワクチンについては、保健所からの通知や国からの告示に、常に気を配り、速やかに対応できるよう努めます。肺炎球菌ワクチンについては、公費負担対象等に留意し、可能な限り早期に接種できるよう、その他ワクチンとの接種間隔調整に取り組みます。

中 長 期 目 標	
①	地域の方々が、現在の暮らしなれた場所で、長く健康に生活することができるよう、予防接種や定期健康診断を積極的に行っていきます。

【予定】

春～夏	高齢者肺炎球菌ワクチン接種
秋～冬	インフルエンザワクチン接種
随時	新型コロナウイルスワクチン接種
9月	特養利用者対象として定期健康診断
5・10月	さくら保育園児対象として定期健康診断

4. 研修計画

重点目標	高い安全性確保と事故防止の徹底を目指し、内部・外部・関連施設での研修講習に積極的に参加するよう努めます。また、日々、入れ替わる医療情報に気を配り、最適な形で提供できるよう努めます。
年 度 目 標	
①	安心して医療を提供し、安心して医療を受けることができる体制を創ることを目指し、安全に対する意識を高めるとともに、事故を未然に回避しうる能力を強固なものにするよう努めます。
②	安全管理、院内感染対策に関する資料の収集や、職員への周知に努めます。
③	医薬品の安全使用について、個々でも知識習得に努め、また職員間で情報を共有するよう努めます。
中 長 期 目 標	
①	医療安全管理の基本的な考え方、事故防止の具体的な手法等周知徹底し、医療従事者として、敬意と信頼をもって互いの専門性を尊重するとともに、職員個々の安全意識の向上を図ることを目指します。

【研修計画】

月	項目	内容	参加者
年2回(必要に応じ随時)	医療安全管理	研修(内部、外部、関連施設に参加)	全職員
年2回(必要に応じ随時)	院内感染症対策	研修(内部、外部、関連施設に参加)	全職員
年2回(必要に応じ随時)	医薬品に関する事故防止・安全管理	研修(内部、外部、関連施設に参加)	全職員

5. その他の重要な取り組み

(1) 新型コロナウイルス感染症予防及びまん延防止対策

院内感染対策指針に則り、平常時より標準予防策の基本的な手技を行い、発生予防に努めます。発生した場合には、保健所との連絡を密にして対応し、拡大を防止しつつ、適切に治療を実施できるよう取り組みます。

(2) ハラスメント対策

医療機関では、生命を左右するような急変時や緊急時に際し、安全管理上の問題と受け止められ、ハラスメントとして取り上げられにくいことが多いため、ハラスメントに該当する行為等について、全職員で知識を共有し、未然に防止できるよう努めます。発生した場合には、迅速に解決できるように取り組みます。

(3) 地域における公益的な活動

地域の医療機関との速やかな連携を目指し、地域医療の向上に努めます。また、連携先医療機関の求める診療情報を円滑に提供できるよう努めます。

事業所名 : 有料老人ホーム 芳苑

1. 理念・基本方針

運営理念	一人一人が求める、その人らしい多種多様なライフスタイルを支えます。
運営方針	<p>① 一人一人が考える生活を実現できる支援を行い、その人らしい生活が継続できるよう努めます。</p> <p>② 「自分で選択する」ことを大切にし、可能な限り自立した生活を送ることができるよう支援します。</p> <p>③ 周辺地域の事業所と連携し、今後の生活を視野に入れた関わりを持ち、継続した支援、環境を提供していきます。</p>

2. 重点目標

重点目標	ご利用者が望む充実した生活を実現し、可能な限り自立した生活を送ることができるよう支えます。
年 度 目 標	
①	介護サービスや生活援助サービスの情報を細かく提示し、ご本人の状態や環境、希望に沿ったサービスを自由に選択し、その人らしく日々を送ることができるように支援していきます。
②	今まで培ってきた関係を保ちながら、ご家族や友人、地域との関係が途切れることのないよう支援に努めます。
③	可能な限り自立した生活につながるよう、心身機能、コミュニケーション機能の維持、向上を継続しながら、心身の状態に変化に応じて、必要なサービス提供に努めます。
中 長 期 目 標	
①	サービスの選択内容を充実させ、自由に選択し、一人一人の望む生活、充実した生活につながる支援体制を作ります。

重点目標	有料老人ホームの特性、特色を活かした支援を行い、ご利用者、ご家族の生活を支えます。
年 度 目 標	
①	入居定員 14 名を常時継続し、ご利用者の状態に著しい変化があった場合にも、その時々に応じた生活援助サービス、介護サービスを自由に組み合わせながら、可能な限り自立した生活を送ることが出来るよう支援を行います。
②	周辺地域の事業所と連携を継続し、今の生活、今後の生活に不安がないよう、ご利用者の心身の状態、ご家族の意向に応じたサービスの提供、適した施設の利用等を円滑に行います。
③	地域の高齢者の方々の在宅生活上での不安等を把握し、有料老人ホームの情報発信を行い、安心した生活を送ることができる場所として、また在宅生活の延長上にある施設としての役割を遂行します。
中 長 期 目 標	
①	有料老人ホームを浸透させ、日々の生活に不安を感じている方々の相談窓口となり、安心した生活を送れる環境を提供できる体制を作ります。

3. 行事計画

重点目標	地域の中での頼られる地域資源となり、協力し合える関係作りに努めます。
年 度 目 標	
①	広報活動を継続し、交流室を活用した催し物や、一般開放日等地域交流を目的としたイベントを充実させ、地域から見た地域資源になるように努めます。
②	運営懇談会を活用し、高齢者や独居生活の方や、在宅生活に不安を感じている方々が、情報交流できる関係作りに努めます。
③	地域へ出向き、有料老人ホームの特色等を伝え、交流を図るとともに、地域の方々との見える関係作りに努めます。
中 長 期 目 標	
①	普段から地域の方々と、行き来できる関係を作り、些細な事でも協力や相談をし合える関係、交流ができる体制、環境を整えます。

【行事予定】

月	行事名	内容	予算
4月	桜花見 (サテライト小規模合同)	・桜の名所(久妙寺)へ出かけます。 ・法安寺、市民の森へ出かけます。	500円 (ガソリン代)
5月	運営懇談会 鯉のぼり見学ドライブ(サテライト合同) 避難訓練(風水害) (サテライト小規模合同) 見学会	・ご利用者、ご家族、地域の方々等と交え会議を行います。 ・今治市民の森へ出かけます ・ご利用者、ご家族、地域等参加して頂き、職員と共に避難訓練を行います。 地域の方々、ケアマネジャーを対象とした有料老人ホームの内覧会を実施	500円 (ガソリン代) 3,000円 (準備代)
6月	休暇村ドライブ (サテライト小規模合同) 避難訓練(火災) (サテライト小規模合同)	・休暇村に出かけ、喫茶店をご利用者同士ゆっくりと過ごして頂きます。 ・ご利用者、ご家族、地域等参加して頂き、職員と共に避難訓練を行います。	各自 500円(お茶代) 500円 (ガソリン代)
7月	運営懇談会 七夕 (サテライト小規模合同) 避難訓練(地震) (サテライト小規模合同)	・ご利用者、ご家族、地域の方々等と交え会議を行います。 ・七夕飾りを作成し苑内に飾ります。 ・ご利用者、ご家族、地域等参加して頂き、職員と共に避難訓練を行います。	3,000円 (七夕準備代)
8月	夏祭り(本体・サテライト小規模合同)	・ご利用者、ご家族、地域の方々を呼び、夏祭りを行います。	5,000円 (夏祭り準備代)

月	行事名	内容	予算
9月	運営懇談会 敬老会（本体・サテライト小規模合同） 避難訓練（防犯） （サテライト小規模合同）	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者、ご家族、地域の方々等と交え会議を行います。 ・ご利用者、ご家族、地域等参加していただき、敬老会を行います。 ・ご利用者、ご家族、地域等参加して頂き、職員と共に避難訓練を行います。 	5,000円 （敬老会準備代）
10月	運動会 （サテライト小規模合同） ハロウィンパーティー （サテライト小規模合同）	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の保育園の運動会の見学に行かせて頂きます。 ・様々な衣装を着て、ハロウィンパーティーを開催します。 	3,000円 （運動会準備代） 10,000円 （お花代） 3,000円 （準備物代）
11月	運営懇談会 紅葉ドライブ （サテライト小規模合同） 買い物ツアー 避難訓練（火災） （サテライト小規模合同） 見学会	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者、ご家族、地域の方々等と交え会議を行います。 ・西山興隆寺等へ出かけます。 ・いつもの生活圏内とは異なる店に行き買い物を楽しんで頂きます。 ・ご利用者、ご家族、地域等参加して頂き、職員と共に避難訓練を行います。 ・地域の方、ケアマネジャーを対象とした有料老人ホームの見学会を実施 	3,000円 （展示物作成代） 1,000円 （ガソリン代） 3,000円 （準備代）

月	行事名	内容	予算
12月	クリスマス会 (本体・サテライト合同) 紅白歌合戦 (サテライト小規模合同)	<ul style="list-style-type: none"> ・苑内にてご利用者、職員、ボランティア等による特技や演奏等を披露します。 ・紅白に分れてカラオケ大会を開催します 	7,000円 (クリスマス会準備代) 5,000円 (飾り作成代、餅つき材料代)
1月	運営懇談会 初詣 (サテライト小規模合同)	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者、ご家族、地域の方々等を交え会議を行います。 ・近くの神社へ初詣に出かけます。 	70円(賽銭5円ずつ×14名分)
2月	節分 (サテライト小規模合同) 生け花教室	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者と一緒に豆まきを楽しみます。 ・生け花の体験をして頂きます。 	300円 (豆代) 500円 (1人花代)
3月	運営懇談会 ひな祭り (サテライト小規模合同)	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者、ご家族、地域の方々等を交え会議を行います。 ・季節感を味わって頂く為、苑内にてひな祭りを行います。 	2,000円 (ひな祭り準備代)
随時	他事業所との交流会	法人内事業所とご利用者との交流	0円
随時	ボランティア	地域の方による慰問の受け入れを行います。	3,000円

4. 研修計画

重点目標	法令を基に、運営を行う上で必要な、基礎的知識を身に着けるとともに、キャリアアップを目指します。臨機応変な対応が出来るよう、職員ひとりひとりの技術向上に努めます。
年 度 目 標	
①	根拠に則った基礎知識、技術の習得を行い、観察視点の把握、対応方法の理解、早期対応が行える体制作りに努めます。
②	資格情報を発信し、資格取得に向けた研修を実施し、各専門職の知識、考え方の幅を広げ、コミュニケーション能力向上を視野に入れたスキルアップにつながる体制を整えます。
③	外部研修への参加を行い、介護に関する様々な最新情報を把握し、習得した知識、技術を職員全体で共有しながらサービスの質の向上に努めます。
中 長 期 目 標	
①	誰でも楽しんで働くことができる環境、体制作りに努め、福祉に関わる資格取得を促し、専門性を高めます。各専門職ともに法令を基にした基礎的知識を得、人材の育成を目指します。

【研修計画】

月	項目	内容	参加者
4月	接遇に関する研修 倫理及び法令遵守に関する研修	法令遵守とは何か知り、法律、規則に定められていることを守らないとどういったことになるのか知り、介護保険法に関する業務で法律違反が発生しないように必要性を学び法律、規則を守る。	全職員
5月	感染症・食中毒の予防及び蔓延防止に関する研修 BCPに関する研修(感染症)	感染症・食中毒予防の蔓延防止する為に必要な知識を理解し、専門職として対応する個々の役割を把握し、緊急時において対応できるようにする。感染症が発生した場合のBCPとは何か理解し、施設内での自身の役割の把握、事業継続における知識を得る。	全職員

月	項目	内容	参加者
5月	身体拘束の排除の為の取組に関する研修	身体拘束の定義について学び、具体的な事例を提示し、もたらす弊害を理解し、職員一人一人が正しい身体拘束に対する知識を得る。	全職員
6月	BCPに関する研修(自然災害)	災害時のBCPとは何か理解し、施設内での自身の役割を把握し遂行し事業継続につながる知識を得る。又、事前に必要なもの(物資や物品、関係書類等)を知り、事業を継続する為に必要な動きを確認する。	全職員
	高齢者虐待防止関連法を含む虐待防止に関する研修	高齢者虐待防止法を学び、定義に照らし合わせながら、発生要因、未然防止に関する基本的なことを学ぶとともに、発生した際の義務について把握し、不適切なケアと思われるものについて検討する。	全職員
7月	事故発生又は再発防止に関する研修	事故が発生した際の初期対応から(対象者の対応、関係機関への連絡、ご家族への連絡、細かい記録等)学ぶ。又、具体的な事故の事例を提示し、原因分析等の未然防止策(福祉用具の活用等)、再発防止策等の検討を行い、同じ事故を繰り返さない。又、ヒヤリハットの重要性について学ぶ。	全職員

月	項目	内容	参加者
8月	高齢者虐待防止関連法を含む虐待防止に関する研修	高齢者虐待防止法を学び、定義に照らし合わせながら、発生要因、未然防止に関する基本的なことを学ぶとともに、発生した際の義務について把握し、不適切なケアと思われるものについて検討する。	全職員
	プライバシーの保護の取組に関する研修	個人情報に対する認識を深く持ち、管理・対策を理解するとともに、漏洩につながる行動を知り、漏洩した際何が起こるのリスクを知った上で、個人情報を取り扱う責任の重さを自覚する。	全職員
9月	緊急時の対応に関する研修	状態変化による急変時の対応（介護は報告すべき項目、最低限しなければいけないこと、看護は指示を出し確認してもらう項目、どんな対応をするか、）を把握し、緊急時に素早い対応ができるよう学ぶ。又、既往歴や疾患から把握できる異常な状態の理解をし、日頃からご利用者の観察すべき点を理解し実践する。	全職員
10月	ハラスメントに関する研修	ハラスメントと言われるものが多数存在していることを理解し、ハラスメントが与える影響、何が当てはまるのか等詳しく学び、ハラスメントのない職場作りには何が必要なのか考え、良好なコミュニケーションを図る。	全職員

月	項目	内容	参加者
10月	BCPに関する研修(自然災害)	前回学んだことを元に、自然災害発生を想定したシュミレーションを行い、物資や物品を実際使用し、訓練を通じて振り返りを行い、改善個所を把握し改善する。	全職員
11月	感染症・食中毒の予防及び蔓延防止に関する研修 BCPに関する研修(感染症)	前回学んだことを基に、シュミレーション(予防、発生、対応)を行い、職員一人一人が適切な対応ができるか、又、この期間を振り返り適切な予防ができていたか検討し、問題を解決する。 前回学んだことを元に、感染症発生想定したシュミレーションを行い、対応や、物資や物品を実際使用し、訓練を通じて振り返りを行い、改善個所を把握し改善する。	全職員
	身体拘束の排除の為の取組に関する研修	前回学んだことを基に、不適切なケアにつながる恐れがある場面を振り返り、シュミレーションを通じて対応方法を考え、実践する。	全職員
12月	認知症及び認知症ケアに関する研修	認知症の発症から経過の過程を学び、過程ごとにある症状、症状に対しての基本的な対応を把握、又、個々に応じて異なる症状の対応方法を具体例を提示し学ぶ。	全職員
	口腔ケアに関する研修	口腔ケアについての知識を学び、口腔ケアの基本技術を理解し、個々に応じた口腔ケアにつなげ、異常の発見につながる視点を得る。	全職員

月	項目	内容	参加者
1月	認知症及び認知症ケアに関する研修	認知症の発症から経過の過程を学び、過程ごとにある症状、症状に対しての基本的な対応を把握、又、個々に応じて異なる症状の対応方法を具体例を提示し学ぶ。	全職員
2月	防犯に関する研修	防犯に関する設備、防犯資材、点検項目を把握し、緊急時通報、訪問者対応等のシュミレーション(合言葉、通報の仕方等)を行い、誰でも統一した対応ができるようになる。又、自施設での死角になる部分の見直しを行い対応策を検討する。	全職員
3月	介護技術に関する研修	軽度から重度までの様々な状態のご利用者に対して、適切に対応できるよう、根拠に基づいた介護の基本を学び、シュミレーションを通して根拠のある介護を行う。	全職員
随時	外国人技能実習生について	外国人技能実習生を受入後の関わり方や必要な支援について学び、技能実習生が働きやすい環境を作る。 (介護指導、生活指導等)	全職員
随時	介護保険改定について	介護保険改定について学び、必要な情報の共有を行い、職員一人一人が意識した業務を行えるよう努める。	全職員
随時	栄養について	栄養について確認すべき基本的な項目について学ぶ。	全職員
随時	介護サービス、生活援助サービスについて	介護サービスや生活援助サービスの情報を学び、個々に合ったサービス提供の助言ができるよう知識を得る。	全職員

【外部研修】

- ・愛媛県在宅介護研修
- ・介護福祉士実務者研修
- ・認知症実践者研修
- ・初任者研修

5、その他の重要な取り組み

(1) 新型コロナウイルス感染症予防及びまん延防止対策

- ・消毒、マスク使用、換気、検温等、基本的な感染症対策を継続して行い、ご利用者、職員の健康管理を徹底し、感染者や濃厚接触者が発生した場合の対応方法のシュミレーションを行う。

(2) ハラスメント対策

- ・ハラスメントに関する事例をあげていくことで、どのようなものがハラスメントにあたるか、ハラスメントの被害にあった場合の対応方法等周知し、対策を行う。

(3) 地域における公益的な活動

- ・介護教室を実施します。高齢者を介護しているご家族等が介護に関する知識や技術を知ること、介護する人、される人ともに、少しでも負担を軽減し、介護者同士の交流を図ることで、介護者が1人で抱え込んでしまわないように取り組んでいきます。

(4) 介護職員処遇改善加算への取り組み

- ・コミュニケーションの円滑化を図り、職員一人一人が働きやすく、相談や話のしやすい雰囲気を作り、モチベーションを上げ、働きがいのある職場環境を目指します。また定期的な面談を行いながら、個々の能力に応じた資格や研修情報や福利厚生等の活用について詳しく伝え、職員全体の知識、技術の向上に努めます。

事業所名 : 西条市地域包括支援センター東予

1. 理念・基本方針

運営理念	誠実さを大切にして自立支援を行います。東予地域の高齢者が、住み慣れた地域で、より良い環境での生活を続けられるように支援します。
運営方針	<p>① 西条市高齢者福祉計画・介護保険事業計画に基づき支援をします。</p> <p>② 介護保険、医療保険、福祉サービス、生活支援サービスなど、多種多様なサービスが切れ目なく提供できる、地域包括ケアシステムを実現できるように努めます。</p> <p>③ 法人内外問わず、関係機関との連携・調整がスムーズに行えるように、信頼関係の構築と継続に努めます。</p>

2. 重点目標

重点目標	地域の高齢者支援相談窓口としての務めを果たせるよう、誠実・的確な対応を行い、信頼される地域包括支援センターになるよう努めます。
年 度 目 標	
①	自ら相談を行うことが難しい高齢者の情報を的確に得る為に、地域の関係機関との信頼関係・ネットワークを維持できるように努めます。
②	来訪・電話・訪問等など、多種多様な相談に的確に応じられるように、各種情報の確認（ネットワーク、事業所、サービスなど）を常に行いながら、職員全員が自己研鑽に努めます。
③	地域包括支援センターが、より親しみのある相談窓口になるように、周知活動を継続して行います。
中 長 期 目 標	
①	住民の方々、関係各所の関係者を問わず、誰もが安心して相談ができる事業所を目指します。

重点目標	地域包括支援センターが、地域の主要な社会資源である各種介護事業所と連携を取りつつ、地域の高齢者支援を続けられるように努めます。
年 度 目 標	
①	公正中立を常に心がけ、法人やサービス種別（在宅、施設）に捕らわれることなく、高齢者支援に於いて最も有効であると思われるサービスの提案を積極的に行います。特に西条市内で数が少ない特定施設、小規模多機能型居宅介護事業所は、軽度な要支援認定利用者から在宅生活困難者まで幅広く有効なサービスであることを分かりやすく説明、提案して、問題解決に繋がられるように努めます。
②	対応の優先度を都度事業所内外で速やかに相談し、包括支援センターでの対応が困難な場合には、速やかに適切な関係機関に繋ぐシステムの構築、継続運用を目指します。
③	経費削減の努力を常に行います。特に公用車使用においては、職務・地域で協力を行う工夫をします。また、ペーパーレス化、対人援助技術の向上も同時に行い、紙や電話の数を減らす努力をします。必要最低限の支出で、適切な高齢者支援ができるようにします。
④	既存の社会資源、特に西条市独自のサービスや制度を有効に活用できるよう、連携と研鑽を心掛けます。既存に無い、地域のニーズに必要な制度やサービスを発掘した場合は、市役所や保健センターなどの公的機関、地域の介護事業所へ積極的に相談を行い、需要と供給が無理なく行える地域包括ケアシステムの構築ができるようにします。
中 長 期 目 標	
①	地域包括支援センター、介護事業所、高齢者、地域住民が、お互いの利益を損ねることなく、長期的に共存ができる地域づくりを目指します。

重点目標	地域包括支援センター東予の事業を長期間継続できるように、職員の育成に努めます。
年 度 目 標	
①	制度や地域包括支援センター職員としての意識だけではなく、亀天会職員として、法人に貢献する意識の改革、継続に努めます。
②	西条市内はもちろん、亀天会が運営する各施設、サービスの内容を熟知できるように、都度勉強会を開催します。
③	高齢者支援の中で施設に繋ぐことが最良の解決法と判断し、高齢者や家族が了承した場合に、迅速に繋ぐ手法、手続きについて、全職員が熟知できるように、都度話し合いを行います。
④	長期的な視点で、高齢者支援、地域包括支援センター東予の運営継続、亀天会を中心とした旧東予市圏内の介護事業所の運営継続ができる方法を考えられる職員の育成に努めます。
中 長 期 目 標	
①	将来、亀天会、地域包括支援センター東予を担うことができる人材の育成ができるように、日々の話し合いや勉強会の開催を行います。

3. 行事計画

重点目標	認知症に関する啓発活動を継続して行うことで、認知症、あるいは認知症になったかもしれないと不安を感じる高齢者や関係者が、いつでも相談できる窓口として、地域包括支援センターを周知して頂けるように努めます。
年 度 目 標	
①	オレンジカフェ（認知症カフェ）として開設した「亀ちゃんカフェ」を、毎月開催します。開催にあたり、地域住民の方が気軽に来て頂けるように、チラシ配布などの周知活動を随時行います。
②	認知症初期集中支援事業として、年間3件以上、認知症初期集中支援チームによる支援を行います。具体的には、認知症、あるいは認知機能低下により、日常生活に支障を来している方で、サービスや医療に繋がっていない、もしくは一度繋がったが途絶えているケースについて、専門医を交えた支援を、1ケースについて6か月間実施します。
③	年間1回以上、支援事業ケース発生時に随時、認知症に関する勉強会を事業所内で開催し、どの職種でも認知症に対する理解を深めながら支援を行えるようにします。

中 長 期 目 標	
①	認知症、認知機能低下により、住み慣れた地域で暮らせなくなる人が、1人でも減るように活動を行います。

重点目標	様々な理由で、自宅や住み慣れた地域での生活が困難になりつつある高齢者が、地域の支えの中で生活し続けられるように、話し合いの場と機会を提供し続けます。
------	----------------------------------------------------------------------------

年 度 目 標	
---------	--

①	年間4回以上、「個別地域ケア会議」を開催します。 具体的には、様々な問題を抱えた高齢者と家族、地域の関係者を集めて、自宅、あるいは地域包括支援センター東予での話し合いを行い、対象の高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるための方法について検討します。
---	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

②	圏域の地域ケア個別会議を、年間1回開催します。 具体的には、①の個別地域ケア会議の開催を踏まえ、明らかになった地域課題やニーズの分析と、次年度に取り組むべき活動方針について話し合いを行います。
---	-----------------------------------------------------------------------------------------------------

中 長 期 目 標	
-----------	--

①	高齢者を地域で支えることができる東予地区を目指し、活動が地域住民に周知されるように努めます。
---	------------------------------------------------

重点目標	地域の元気な高齢者が、要支援状態にならずに元気なまま生活できるように、誰でも参加が可能な様々な活動の支援を行います。
------	------------------------------------------------------------

年 度 目 標	
---------	--

①	圏域各所の公民館や集会所等の機関と協力しながら、定期的に様々な活動の支援を行います。 <毎月開催> 高齢者カフェ：多賀・吉井・壬生川・三芳・国安公民館 体力測定：月1～2回、各公民館で順番に実施 <随時開催> 脳いきいきチェック 介護予防教室（内容は都度変更） 出前講座（内容は都度変更） 公民館や地域の方の要望に応じて、順次新規行事の開設も検討します。
---	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

②	西条市内の他の4圏域との情報交換を行いながら、東予地域に合った介護予防支援の在り方を協議します。 ＜毎月開催＞ 生活支援コーディネーター連絡会（本庁）
中 長 期 目 標	
①	東予地域の住民が、自立した活動ができるように支援します。

重点目標	地域包括支援センター東予が、東予地区の重要な高齢者窓口として活動を続けられるように、市内の各関係各所との連携を密にします。
年 度 目 標	
①	西条市内各地域包括支援センターとの連携 ＜毎月開催＞ 西条市地域包括支援センター連絡会
②	西条市内の居宅介護支援事業所との連携 ＜年間4回開催予定＞ 西条市介護支援専門員連絡会
③	困難事例へのケアマネジメント、対応方法の勉強会、情報共有。 ＜年間5回程度＞ 困難事例検討会（本庁）
④	介護予防のための地域ケア個別会議 ＜年間5回開催予定＞ 本庁包括支援課がまとめ役となり、各圏域地域包括支援センターが主催する形で、各圏域1回ずつ、年間5回、本庁で医療従事者を交えた助言者を参集し、各圏域から2事例ずつ事例を提供して、専門的な見地から問題解決に向けた話し合いを行います。
中 長 期 目 標	
①	市内の地域包括支援センター、居宅介護支援事業所との連携強化と信頼関係の構築に努めます。

4. 研修計画

重点目標	三職種、ケアプランナー、コーディネーターが各々の専門性を活かした支援を行い続けることができるように、職種間の理解を深めながら知識、技術、意識の向上を図ります。
年 度 目 標	
①	主任介護支援専門員は、介護保険制度を中心とした制度や在宅サービス、施設サービスの最新情報を常に把握し、事業所内で周知できるようにします。
②	社会福祉士は、成年後見制度や日常生活自立支援事業など、介護保険制度以外の制度の理解、最新情報、西条市独自制度の理解を深め、事業所内で周知できるようにします。
③	保健師（看護師）は、これまでの医療経験を活かして、高齢者本人や関係者の健康状態の把握を的確に行い、必要な医療福祉サービス、医療機関へ繋げるようにします。最新の医療情報を把握しながら、地域の医療機関との連携がスムーズに行えるスキルの維持向上に努めます。
④	ケアプランナーは、地域の利用者が様々な生活上の支援を受けながら自分らしい生活を続けられるように、適切なケアマネジメント技術の維持向上に努めます。
⑤	生活支援コーディネーターは、介護予防の視点を常に持ちながら、圏域各所の公民館や福祉センターなどと共同ができるように、制度の理解と地域資源の知識を深めます。
中 長 期 目 標	
①	全職員が、地域包括支援センター職員としての責務と業務や制度の内容を熟知し、長期的な視点を持ちながら、多職種連携が取れる体制づくりを目指します。

【年間計画】

月	項目	内容	主催
随時 開催	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症初期集中支援事業 ・ 事例検討会 (困難事例) ・ 虐待通報 ・ 地域ケア会議 ・ 成年後見制度 ・ 生活保護 	左記については、発生頻度が高いこと、都度三職種を中心としたチームケアが必要なことから、事例発生時に確認を含めて勉強会を開催する。都度確認を行うことで、全職員が様々なケースに的確に対応できるようにする。	各ケース 対応 担当者

月	項目	内容	主催
毎月 開催	オレンジカフェ（認知症カフェ）について	令和4年12月から「亀ちゃんカフェ」の名称でオレンジカフェを毎月開催している。打ち合わせ時に、認知症カフェの意義などについて、都度勉強会を開催する。	生活支援コーディネーター
4月	制度改定について	介護保険法改定内容の確認と周知、地域包括支援センター委託業務内容変更の周知を行う。	管理者 社会福祉士
5月	新型コロナウイルス感染症対策について	新型コロナが2類から5類に分類が変更するにあたり、社会的な感染対策、医療体制がどのように変化するかを確認し、今後の対応方法について協議する。	保健師
6月	個人情報保護について	基本の確認、情報管理の方法の確認。また、情報漏洩に繋がりやすい状況の確認を行うことで、過剰にならずに守れる体制作りを行う。	主任介護支援専門員
7月	相談対応について	電話、来所、訪問希望など、様々な手段で多種多様な相談を受ける特性から、改めて相談対応について、手順やルール、注意事項について確認を行う。	社会福祉士
8月	ケアマネジメントについて	プランナー業務についての確認を行う。各業務の意義、注意点。ケアマネジメント業務の流れなどについて確認をする。 (生活支援コーディネーター以外全員参加)	主任介護支援専門員
9月	消費者被害防止を踏まえた、介護予防支援について	詐欺や通信販売などの消費者被害防止について、地域の生活支援・介護予防支援の意義を踏まえて確認をする。	生活支援コーディネーター

月	項目	内容	主催
10月	地域資源について（在宅編）	地域で活用可能な資源について、特に在宅生活維持のために有効な物の確認と「発掘すべき資源」について話し合いを行う。	主任介護支援専門員 社会福祉士
11月	地域資源について（施設、病院編）	地域で活用可能な資源について、在宅での生活が困難になった場合に受け入れ可能な資源の確認と、活用方法について話し合いを行う。	主任介護支援専門員 保健師
12月	感染症予防について	新型コロナウイルス、インフルエンザなど、疾病別の感染対策の確認を行う。	保健師
1月	ハラスメントについて	セクハラ、パワハラを始めとする、職場におけるハラスメントを防止するために、取り決められているルールの再確認を行う。ケースごとの対応について、グループワークを行う。	社会福祉士
2月	西条市独自の高齢者福祉サービスについて	タクシー券など、西条市の高齢者サービスについての周知を行う。種類や手続きについて把握することで、毎年3月に実施する申請補助が全員出来るようにする。	社会福祉士
3月	令和5年度の反省、令和6年度の活動方針について	一年間の反省を踏まえ、令和6年度の事業計画を踏まえた活動方針についての話し合いを行う。全員で行うことで、同じ方向に向かう意識作りを行う。	管理者

5. その他の重要な取り組み

(1) 新型コロナウイルス感染症予防及び蔓延防止対策

新型コロナウイルス感染症が日本で発症してから3年が経過し、今後も感染が続くことが予想される為、マスク着用や手指消毒、室内の換気や検温などの対策を徹底して、感染予防に努めます。

(2) ハラスメント対策

各種ハラスメント対策を適切に行い、職員が安心して働ける職場作りを行います。パワーハラスメント、セクシャルハラスメント、マタニティハラスメント、カスタマーハラスメントなど、ハラスメントに関する知識の共有、意識を持てるように勉強会を定期的の実施し、ハラスメントが存在しない職場作りに努めます。

(3) 地域における公益的な活動

旧東予市を担当する地域包括支援センターとして、地域活動は通常業務であると同時に、地域活性化のために欠かせない取り組みとなっています。公民館活動、認知症初期集中支援事業を始めとする認知症支援活動、各種相談業務を通じて、地域住民の方々寄り添いながら活動を続けられるように、関係性の構築と継続に努めます。